

現場説明事項

工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事
担当部署 総合政策部 管財課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、空調設備の老朽化に伴う更新工事及び、照明器具のLED化を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事は目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

1) 工事関係車両については、難波田城資料館南駐車場（仮設図参照）を使用し、指定場所以外に違法駐車をしないこと。

2) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。

3) 近隣住宅地及び周辺道路等に対して、安全面を十分に考慮し工事を進行すること。

また、騒音、振動、異臭等、支障があると思われる工事は、十分に協議を行うこと。

4) 工事について

公園は開園をしています。資料館のみの休館です。

仮設工事及び展示物、備品等の梱包・移動・保管は、10月9日（水）から作業を行い完了後、着工とする。また、令和2年2月28日（木）までに、保管している展示物、備品等の復旧も含め完了とする。

事務室工事については、休館日の毎週月曜日とする。

5) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CADデータを修正したものから作成すること。

6) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。

参考資料

設 計 仕 様 書

工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事

工事場所 富士見市 大字下南畑 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称		市立難波田城資料館空調設備更新工事			
請負工事費					
工事概要		資料館、売店、納屋の空調設備の更新 資料館、売店、納屋の照明器具のLED化 上記改修に伴う建築工事			
総括表					上段 下段
名 称	摘 要	数 量	単 位	金 額	設計変更 原 設計 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
電気設備工事		1	式		
機械設備工事		1	式		
計		1	式		
共通仮設費		1	式		
純工事費					
現場経費		1	式		
工事原価					
一般管理費		1	式		
工事価格					
消費税相当額		1	式		10%
請負工事費					

						積算用紙	
						上段	変更設計
						下段	原設計
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
工事共通仮設費							
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式				
仮設建物費	倉庫、下小屋、現場事務所 作業員施設等の費用	1.0	式				
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式				
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式				
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水 設備とその料金に要する費用	支給					(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分 等の整理清掃に要する費用	1.0	式				
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要す る費用	1.0	式				
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式				
計							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設工事						
ガードフェンス	1800×1800	135.0	m			
キャスターゲート	W3.6×H2.0	1.0	ヶ所			
キャスターゲート	W6.0×H2.0	1.0	ヶ所			
交通誘導員	10人程度	1.0	式			
収蔵庫内備品 撤去・再設置費	梱包・場外一時保管含む	1.0	式			
展示物撤去・再設置費	場外一時保管含む	1.0	式			別紙明細-1
警備センサー 一時撤去・再取付		1.0	式			
小計						

(- 積上げ -)

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
A	建築工事												
1	直接仮設工事			1.0		式							
2	木工事			1.0		式							
3	金属工事			1.0		式							
4	塗装工事			1.0		式							
5	内装工事			1.0		式							
6	撤去工事			1.0		式							
7	処分費			1.0		式							
	小計												
8	スクラップ			1.0		式							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設工事												
	養生費(内部改修)	複合改修		318.0		m ²							
	整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修		318.0		m ²							
	養生費(内部改修)	搬出入路部分		88.7		m ²							
	整理清掃後片付け(内部改修)	搬出入路部分		88.7		m ²							
	内部仕上足場(改修)	脚立足場		318.0		m ²							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	木工事												
	天井 野縁組		40×45×@450	14.4		m ²							
	天井 ワン合板		厚9.0 1類 見え隠れ	26.4		m ²							
	天井 天然木化粧合板		厚5.0 素地仕上	19.3		m ²							
	天井 縁甲板張り		厚15	7.1		m ²							
	天井 竿縁		杉 36×27	8.4		m							
	室外機 木製カバー		2か所	1.0		式							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	金属工事												
	軽量鉄骨天井下地	19形	@225 直張用	57.2		m ²							
	軽量鉄骨天井下地	19形	@300 直張用	17.4		m ²							
	軽量鉄骨天井下地	19形	@360 下地張りあり	20.0		m ²							
	天井点検口	アルミ製	600角 内外枠共額縁	13.0		ヶ所							
	開口補強		300×1200程度	2.0		ヶ所							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	塗装工事												
	天井 EP-G塗り		ポード面 B種	3.0		m ²							
	天井 素地ごしらえ		ケイカル板面 A種	3.0		m ²							
	天井 木材保護塗料塗り(WP)		木部 B種	26.4		m ²							
	天井 素地ごしらえ		木部 B種	26.4		m ²							
	天井 木材保護塗料塗り(WP)		木部細巾物 B種	8.4		m							
	天井 素地ごしらえ		木部細巾物 A種	8.4		m							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	内装工事												
	天井												
	ロックール吸音板	厚12.0	凹凸タイプ PB9.5共	8.0		m ²							
	天井												
	フレキシブルボード	厚6.0	目透し	3.0		m ²							
	天井												
	化粧石膏ボード	厚9.5	突付け	54.2		m ²							
	天井												
	石膏ボード	厚12.5	突付け	17.4		m ²							
	天井												
	ビニルクロス	量産品		17.4		m ²							
	天井												
	塩ビ廻り縁			32.7		m							
	天井												
	既存建具一時撤去・再取付			33.5		m ²							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6	撤去工事												
	天井 合板・ボード撤去		一重張り	74.6		m ²							
	天井 合板・ボード撤去		二重張り	34.4		m ²							
	天井 ビニールクロス撤去			17.4		m ²							
	天井 下地撤去			109.0		m ²							
	天井 竿縁撤去			8.4		m							
	天井点検口撤去		600角	7.0		ヶ所							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	処分費												
	発生材 運搬	2t車 DID無し 8.5km以下											
		石膏ボード類 人力積込		0.8		m ³							
	発生材 運搬	2t車 DID無し 8.5km以下											
		木材類 人力積込		1.3		m ³							
	発生材 処分	石膏ボード(再生)		0.8		m ³							
	発生材 処分	木くず(再生)		0.5		m ³							
	発生材 処分	解体系混合廃棄物		0.4		m ³							
	発生材 処分	金属くず		0.4		m ³							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細-1 展示物撤去・再設置費						
展示物撤去・養生作業	ジオラマ樹木及び石碑は、現場養生のみ	1.0	式			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>・展示ガラスケース (養生及び搬出)</p> <p>W400×D400×H300 1台 W900×D600×H400 5台 W500×D500×H400 1台 W1000×D400×H300 1台 W1200×D400×H300 3台</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>・地形模型(ガラスケース含む) (養生及び搬出)</p> <p>W950×D700×H300 1台 W1300×D1000×H300 1台</p> <p>・水辺ジオラマ養生 (取外し、養生及び搬出)</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>・グラフィックパネル (取外し、養生及び搬出)</p> <p>W600×H900 18点 W900×H900 4点 W1200×H900 1点 W1800×H1200 1点 W900×H450 2点</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>・樹木展示 (現場養生のみ)</p> <p>・石碑レプリカ (現場養生のみ)</p> </div> </div>					
一時保管レンタルルーム		3.0	ヶ月			
再設置作業		1.0	式			
運搬費	4tトラックチャーター 運び手	2.0	回			
その他現場管理費	車両 交通費	3.0	日			
計						
改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
1	電灯コンセント設備工事												
	新設 LED照明器具	25001m											
	A321	埋込型 32W-1灯相当		10.0		個							
	新設 LED照明器具	52001m											
	A322	埋込型 32W-2灯相当		40.0		個							
	新設 LED照明器具	52001m											
	A322B	埋込型 32W-2灯 BT付相当		3.0		個							
	新設 LED照明器具	25001m LSS9-4-23											
	B321	富士型 32W-1灯相当		1.0		個							
	新設 LED照明器具	52001m											
	B322	富士型 32W-2灯相当		12.0		個							
	新設 LED照明器具	52001m											
	B322B	富士型 32W-2灯 BT付相当		2.0		個							
	新設 LED照明器具	32001m											
	B162	富士型 16W-2灯相当		1.0		個							
	新設 LED照明器具	52001m											
	C322	直付反射笠型 32W-2相当		3.0		個							
	新設 LED照明器具	9801m											
	D201	棚下灯 20W-1相当		1.0		個							
	新設 LED照明器具	32001m											
	E321	埋込型黒板灯 32W-1灯相当		2.0		個							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
新設 LED照明器具 F09	φ100					
	埋込型ダウンライト 60形	4.0	個			
新設 LED照明器具 F27	φ150					
	埋込型ダウンライト 150形	4.0	個			
新設 LED照明器具 FW27	和風 φ150					
	埋込型ダウンライト 150形	38.0	個			
新設 LED照明器具 G321	2500lm					
	直付型 32W-1灯	92.0	個			
新設 LED照明器具 H321	2210lm					
	ウォールライト 32W-1灯	2.0	個			
新設 LED照明器具 H201	1020lm					
	ウォールライト 20W-1灯	1.0	個			
新設 LED照明器具 I60	φ150 防雨型 995lm					
	埋込形ダウンライト FDL27形相当	4.0	個			
新設 LED照明器具 K1B	φ150 ハロゲン電球30形相当					
	埋込形非常灯	14.0	個			
新設 LED照明器具 N18						
	ブラケット形 100形電球 1灯相当	5.0	個			
新設 LED照明器具 P50	555lm J12V75形(50W)器具相当					
	埋込形ユニバーサルダウンライト 100形	19.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
撤去 照明器具 A41	埋込形 40W-1灯	10.0	個			
撤去 照明器具 A42	埋込形 40W-2灯	38.0	個			
撤去 照明器具 A42B	埋込形 40W-2灯 BT付	3.0	個			
撤去 照明器具 B41	富士形 40W-1灯	1.0	個			
撤去 照明器具 B42	富士形 40W-2灯	14.0	個			
撤去 照明器具 B42B	富士形 40W-2灯 BT付	2.0	個			
撤去 照明器具 B22	富士形 20W-2灯	1.0	個			
撤去 照明器具 C42	反射笠形 40W-2灯	3.0	個			
撤去 照明器具 D21	棚下灯 20W-1	1.0	個			
撤去 照明器具 E41	埋込形黑板灯 40W-1灯	2.0	個			
撤去 照明器具 F9	埋込形ダウンライト 9W	4.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去 照明器具 F18	埋込形ダウンライト 18W	4.0	個			
撤去 照明器具 F27	埋込形ダウンライト 27W	38.0	個			
撤去 照明器具 G41	トラフ形 40W-1灯	86.0	個			
撤去 照明器具 G41G	トラフ形 40W-1灯 カート付	4.0	個			
撤去 照明器具 H41	ブラケット形 40W-1灯 カバー付	2.0	個			
撤去 照明器具 H21	ブラケット形 20W-1灯 カバー付	1.0	個			
撤去 照明器具 I60W WP	埋込形ダウンライト 60W	4.0	個			
撤去 照明器具 K1B	埋込形非常灯	14.0	個			
撤去 照明器具 N18W	ブラケット形 18W	5.0	個			
撤去 照明器具 P50	埋込形ユニバーサルダウンライト	19.0	個			
撤去 照明器具 Q60	コートペンダント	2.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	弱電設備工事												
	撤去再取付 スピーカー	天井埋込型	ATT無	3.0		個							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
3	火報設備工事												
	撤去再取付 感知器	差動式2種		6.0		個							
	消防検査立会	P-1		1.0		工事							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	産業廃棄物処分費												
	照明器具処分			1.0		式							
	同上用収集運搬費			1.0		回							
	リサイクル処分	蛍光管		1.0		式							
	同上用収集運搬費	リサイクル施設まで		1.0		回							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
M	機械設備工事												
1	空気調和設備工事	難波田城資料館		1.0		式							
2	換気設備工事	〃		1.0		式							
3	撤去工事	〃		1.0		式							
4	納屋・売店空調設備工事	納屋・売店		1.0		式							
5	納屋・売店撤去工事	〃		1.0		式							
6	処分・運搬費			1.0		式							
	合計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	空気調和設備工事												
	AC-1	EHP室外機	床置型、56.0kw形	1.0		台							
	AC-2	EHP室外機	床置型、28.0kw形	1.0		台							
	AC-3	EHP室外機	床置型、28.0kw形	1.0		台							
	搬入費		揚重機含む	1.0		式							
	AC-1-1	天埋ダクト型室内機	冷 11.2kW、暖 12.5kW	2.0		台							
	AC-1-2	天埋ダクト型室内機	冷 7.1kW 暖 8.0kW	2.0		台							
	AC-1-3	天埋ダクト型室内機	冷 7.1kW 暖 8.0kW	2.0		台							
	AC-2-1	4方向天井カセット型室内機	標準パネル 冷 11.2kW 暖 12.5kW	2.0		台							
	AC-2-2	4方向天井カセット型室内機	標準パネル 冷 5.6kW 暖 6.3kW	1.0		台							
	AC-3-1	4方向天井カセット型室内機	標準パネル 冷 14.0kW 暖 16.0kW	1.0		台							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AC-3-2 4方向天井カセット型室内機	標準パネル					
	冷 8.0 kW 暖 9.0kW	1.0	台			
AC-3-3 4方向天井カセット型室内機	標準パネル					
	冷 4.5kW 暖 5.0kW	1.0	台			
集中コントローラー		1.0	個			
標準リモコン		6.0	個			
スパイラルダクトφ200		6.0	m			
スパイラルダクトφ150		3.0	m			
スパイラルダクトφ100		3.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スパイラルダクト保温材 φ200用	屋内いんぺい					
	グラスウール25mm	6.0	m			
スパイラルダクト保温材 φ150用	屋内いんぺい					
	グラスウール25mm	3.0	m			
スパイラルダクト保温材 φ100用	屋内いんぺい					
	グラスウール25mm	3.0	m			
保温機能付空調ドレン管VP25						
	天井内	12.0	m			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
2	換気設備工事												
	AEX-1	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 250×750m3/h		1.0		台							
	AEX-2	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 200×480m3/h		1.0		台							
	AEX-3	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 200×330m3/h		1.0		台							
	AEX-4	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 250×1110m3/h		1.0		台							
	AEX-5	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 200×330m3/h		1.0		台							
	AEX-6	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 150×240m3/h		1.0		台							
	AEX-7	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 150×280m3/h		1.0		台							
	AEX-8	天井埋込形											
	全熱交換換気扇	φ 250×780m3/h		1.0		台							
	全熱交換換気扇リモコン			8.0		台							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
VF-1 天井ダクト換気扇	φ 100×100m3/h	1.0	台			
VF-2 中間ダクト換気扇	φ 200×700m3/h	1.0	台			
VF-3 天井ダクト換気扇	φ 100×20m3/h	1.0	台			
VF-4 天井ダクト換気扇	φ 150×200m3/h	2.0	台			
VF-5 天井ダクト換気扇	φ 150×560m3/h	1.0	台			
VF-6 天井ダクト換気扇	φ 150×200m3/h	2.0	台			
VF-7 レンジフードファン600形	φ 150×600m3/h	1.0	個			
VF-8 レンジフードファン600形	φ 150×600m3/h	1.0	個			
VF-9 レンジフードファン600形	φ 150×600m3/h	1.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スパイラルダクト φ250	亜鉛鋼板製	6.0	m			
スパイラルダクト φ200	亜鉛鋼板製	6.5	m			
スパイラルダクト φ150	亜鉛鋼板製	6.5	m			
スパイラルダクト φ100	亜鉛鋼板製	1.0	m			
ダクト保温材 φ250用	屋内いんぺい					
	グラスウール25mm	6.0	m			
ダクト保温材 φ200用	屋内いんぺい					
	グラスウール25mm	6.5	m			
ダクト保温材 φ150用	屋内いんぺい					
	グラスウール25mm	5.0	m			
ダクト保温材 φ100用	屋内いんぺい					
	グラスウール25mm	1.0	m			
ダクト断熱材 φ150用	屋内いんぺい					
	ロックウール50mm	0.7	m ²			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	撤去工事												
	AC-1	EHP	室外機	56.0kw	形	床	置	1.0	台				
	AC-2	EHP	室外機	35.5kw	形	床	置	1.0	台				
	AC-3	EHP	室外機	28.0kw	形	床	置	1.0	台				
	搬出費							1.0	式				
	AC-1-1		室内機	11.2kw		天	埋	ダ	ク	ト	2.0	台	
	AC-1-2, 3		室内機	7.1kw		天	埋	ダ	ク	ト	4.0	台	
	AC-3-1		室内機	14.0kw		4	方	向	天	井	カ	セ	ッ
	AC-2-1		室内機	11.2kw		4	方	向	天	井	カ	セ	ッ
	AC-2-2		室内機	9.0kw		4	方	向	天	井	カ	セ	ッ
	AC-3-2		室内機	8.0kw		4	方	向	天	井	カ	セ	ッ

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AC-2-3 室内機	5.6kw 4方向天井カセット型	1.0	台			
AC-3-3 室内機	4.5kw 4方向天井カセット型	1.0	台			
集中コントローラー		1.0	個			
空調用標準リモコン		7.0	個			
スパイラルダクトφ200		6.0	m			
スパイラルダクトφ150		3.0	m			
スパイラルダクトφ100		3.0	m			
ダクト保温材25mm	グラスウール、屋内いんぺい	6.1	m ²			
ドレン管 VP25	屋内一般	12.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AEX-1, 8 全熱交換換気扇 φ 250	天井埋込形、750～780m ³ /h	2.0	台			
AEX-2, 3, 5 全熱交換換気扇 φ 200	天井埋込形、330～480m ³ /h	3.0	台			
AEX-4 全熱交換換気扇 φ 250	天井埋込形、1110m ³ /h	1.0	台			
AEX-6, 7 全熱交換換気扇 φ 150	天井埋込形、240～280m ³ /h	2.0	台			
全熱交換換気扇用標準リモコン		7.0	台			
VF-1 天井ダクト扇 φ 100	100m ³ /h	1.0	台			
VF-2 中間ダクト扇 φ 200	700m ³ /h	1.0	台			
VF-3 天井ダクト扇 φ 100	20m ³ /h	1.0	台			
VF-4, 6 天井ダクト扇 φ 150	200m ³ /h	2.0	台			
VF-5 天井ダクト扇 φ 150	560m ³ /h	1.0	台			
VF-7, 8, 9 レンジフードファン	600形、600m ³ /h	3.0	台			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スパイラルダクトφ250	亜鉛鋼板製	6.0	m			
スパイラルダクトφ200	亜鉛鋼板製	6.5	m			
スパイラルダクトφ150	亜鉛鋼板製	6.5	m			
スパイラルダクトφ100	亜鉛鋼板製	1.0	m			
ダクト保温材25mm	グラスウール、屋内いんぺい	11.5	m ²			
ダクト断熱材50mm	ロックウール、屋内いんぺい	0.7	m ²			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	納屋・売店空調設備工事												
	RC-1 ルームエアコン	冷 4.0kW 暖 5.0kW	壁掛室内機、床置型室外機	1.0		台							
	RC-2 ルームエアコン	冷 4.0kW 暖 5.0kW	壁掛室内機、床置型室外機	1.0		台							
	冷媒被覆銅管 φ9.5	保温厚20mm		6.0		m							
	冷媒被覆銅管 φ6.4	保温厚8mm		6.0		m							
	樹脂製化粧カバー	幅140		2.0		m							
	ドレン管 VP20	屋内一般		5.0		m							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	納屋・売店撤去工事												
	RC-1 ルームエアコン	冷 4.0kW 暖 5.0kW	壁掛室内機、床置型室外機	1.0		台							
	RC-2 ルームエアコン	冷 4.0kW 暖 5.0kW	壁掛室内機、床置型室外機	1.0		台							
	冷媒被覆銅管 φ9.5	保温厚20mm		6.0		m							
	冷媒被覆銅管 φ6.4	保温厚8mm		6.0		m							
	樹脂製化粧カバー	幅140		2.0		m							
	ドレン管 VP20	屋内一般		5.0		m							
	計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6	処分・運搬費												
	解体系混合廃棄物			12.5		m ³							
	金属くず			1.1		m ³							
	運搬費	4 t ダンプ		2.0		台							
	運搬費	2 t ダンプ		1.0		台							
	家電リサイクル			2.0		式							
	冷媒ガス回収・処分	56.0kw、書類作成含む		1.0		式							
	冷媒ガス回収・処分	35.5kw、書類作成含む		1.0		式							
	冷媒ガス回収・処分	28.0kw、書類作成含む		1.0		式							
	計												

市立難波田城資料館空調設備更新工事

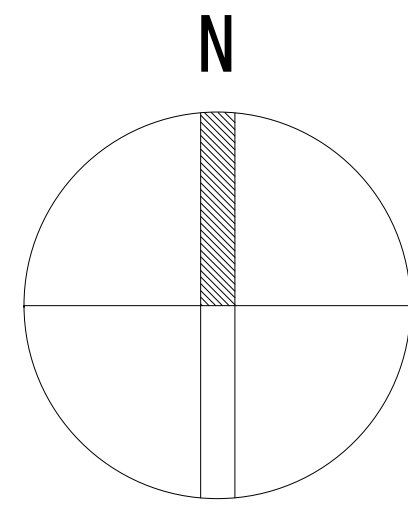
令和元年度

7 鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表5. 4. 2]	性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号:・建具表による)) ・S-5 (建具符号:・建具表による)) ・S-6 (建具符号:・建具表による))
	防音ドアセット, 防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号:・建具表による)) 断熱ドアセット, 断熱サッシ [G] 断熱性の等級 () (建具符号:・建具表による)) 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 () (建具符号:・建具表による))
8 鋼製軽量建具 [5. 2. 2] [5. 5. 2]	性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号:・建具表による)) ・S-5 (建具符号:・建具表による)) ・S-6 (建具符号:・建具表による))
9 ステンレス製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2]	性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号:・建具表による)) ・S-5 (建具符号:・建具表による)) ・S-6 (建具符号:・建具表による))
	防音ドアセット, 防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号:・建具表による)) 断熱ドアセット, 断熱サッシ [G] 断熱性の等級 () (建具符号:・建具表による)) 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 () (建具符号:・建具表による))
10 木製建具 [16. 7. 2~4]	建具材の加工, 組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
	・フラッシュUP 表面材の合板の種類 合板の種類 ・普通合板 [G] 表面の樹種 生地, 透明塗料塗リ (※ラワン程度)) 不透明塗料塗リ (※しな程度)) 板面の品質 () 地盤の程度 (・1類・2類)
11 建具用金物 [5. 7. 2] [5. 7. 3]	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5. 7. 1による 樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表5. 7. 3による 握りレバー・ハンドル, 押板類, クレセントの取付位置 ・建具表による
	マスターキー その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ・無 ・有
13 自動ドア開閉装置 [5. 8. 3]	自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止
14 自閉式上吊り引戸装置 [5. 9. 3]	性能 ※改修標準仕様書表5. 9. 1による
15 重量シャッター [5. 10. 2. 3]	シャッターの種類 シャッターの種類 ・一般重量シャッター ・外建用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター
	耐風圧強度 耐風圧強度 () N/m ² 耐風圧強度 () N/m ²
16 軽量シャッター [5. 11. 2~4]	開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※改修標準仕様書5. 10. 2(d) (4) (i) かつ(ii) 管理用シャッターのシャッターケース ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12
	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロック形状 ・オーバーラッピング形

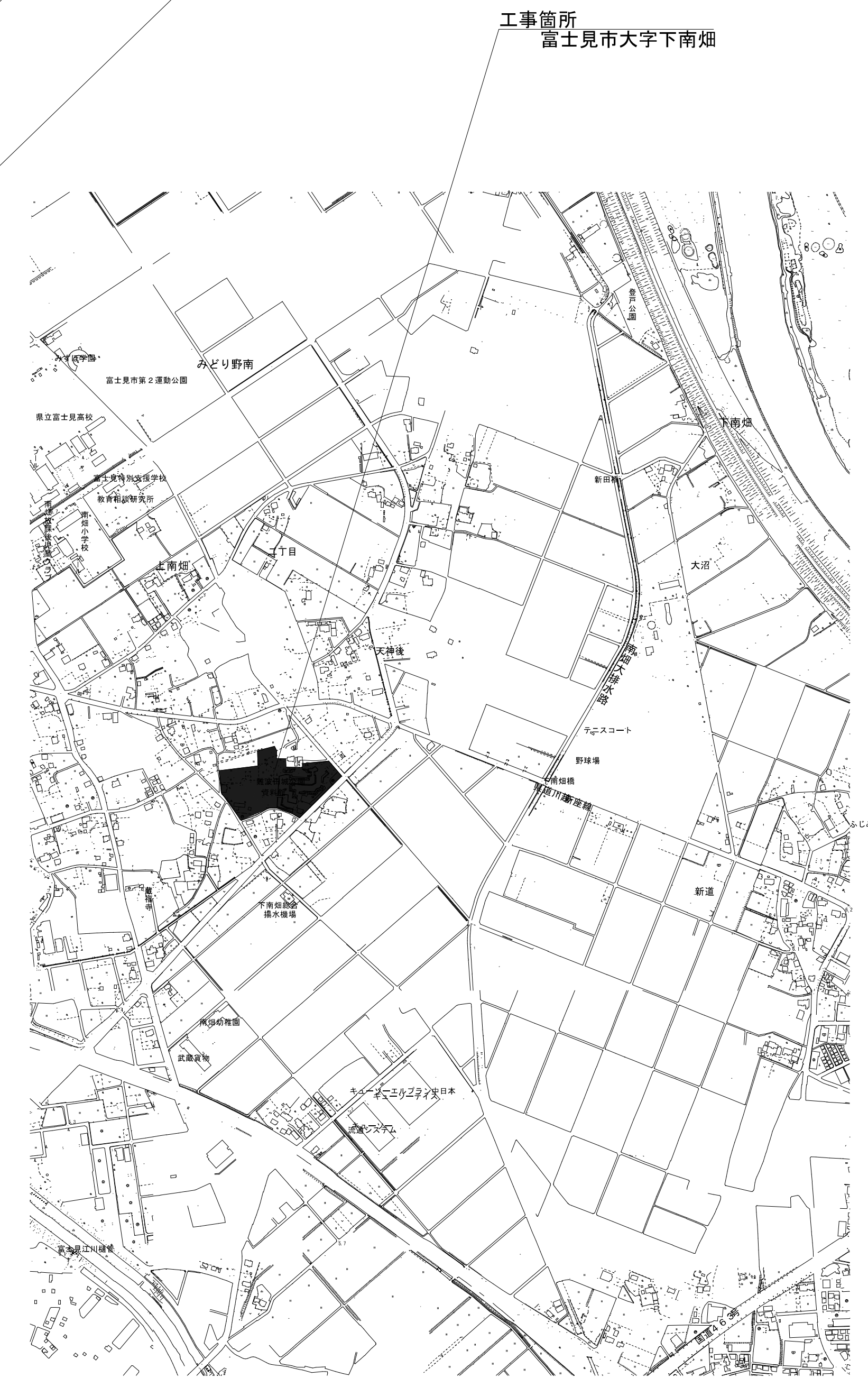
17 オーバーヘッドア [5. 12. 2, 3]	セクション材料 による区分 ※ステールタイプ ・125 ・アルミニウムタイプ ・100 ・ファイバーグラスタイプ ・75 ・50	開閉方式 による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	取納形式 による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	ガイドレール の材質 ※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
	適用は以下によるほか, ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。	強化ガラス 材料板ガラスによる種類 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・型板ガラス	種類 ・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・型板強化ガラス	性能 ・I類 ・II-1類・II-2類 ・III類
18 ガラス [3. 7] [5. 13. 2~4] [表5. 13. 1]	強化ガラス 材料板ガラスによる種類 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・型板ガラス	種類 ・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・型板強化ガラス	性能 ・I類・II類	色調 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ
	熱線吸収ガラス 種類 ・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収入層き板ガラス	性能 ・1種 ・2種	色調 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ	
19 ガラスブロック [5. 13. 5]	ガラスの種類 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス	色調 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ	ガラス溝の大きさ ガラスの留め材及び溝の大きさ	アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレンジングチャンネル形
	鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ステンレス製 ・シーリング材	※改修標準仕様書表5. 13. 1による ・図示 ※改修標準仕様書表5. 13. 1による ・図示	鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ステンレス製 ・シーリング材	※改修標準仕様書表5. 13. 1による ・図示 ※改修標準仕様書表5. 13. 1による ・図示
20 ガラス用フィルム [5. 13. 4]	表面形状 ・正方形 ・長方形	呼び寸法 ・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320 ・250×125 ・320×160	厚さ ・80 ・95 ・125 ・95 ・80 ・95	色調 ・乳白 ・透明
	曲面積みの曲率半径は, ガラスブロックの幅寸法の1.0倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ・図示 ・) ・設けない 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 金属製化粧カバー 材質 寸法 ・図示 ・図示 形状 ・図示	目地幅(mm) ・平積み ・曲面積み ※6m以下ごとに 10~25 ・図示 ・有り	伸縮調整 目地(mm) ・10~25 ・図示 ・有り	防火性能 ・無し ・有り
品質 JIS A 5759 : 2016 による	※施工箇所は建具表による	名称 ・SC-1 ・SC-2	種類 ・A ・B ・C ・D ・E	日射遮蔽性能
	日射調整フィルム [G] ・ガラス飛散防止フィルム	寸法 ・G1-1 ・G1-2 ・G2-1 ・G2-2	見付け材の品質 ・図示 ・有り	含水率 ・図示 ・有り

⑥ ① 改修範囲 [6. 1. 3]	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井, 壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし, 既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし, 既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示
	2 既存床の撤去及び 下地補修 [6. 2. 2]
3 既存壁の撤去及び 下地補修 [6. 3. 2]	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない) ・図示
4 木下地等の表面 仕上げ [6. 5. 1]	表面仕上げの種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種
5 製材 [G] [6. 5. 2]	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※2級 ※A種・B種 ※2級 ※A種・B種
	・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 ※A種・B種 見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種・B種
6 造作用集成材 [G] [6. 5. 2]	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 ※1等 ※10%以下 ※A種・B種 ※1等 ※10%以下 ※A種・B種
	・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 ※A種・B種 見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種・B種
7 造作用単板積層材 [G] [6. 5. 2]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 見付け材の品質 含水率 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板 芯材 寸法 見付け材の品質 含水率 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等
8 床張り用合板等 [G] [6. 5. 2]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ (mm) 表板 接合 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ※5.5 ※1類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 ※5.5 ※1類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 ・2類 針葉樹 ※C-D以上
	・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ (mm) 表板 接合 板面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級: ・)) ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し()) ※14%以下
9 接着剤 [6. 5. 3] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 11. 4. 5]	接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・図示
	課長 副課長 主幹 主査 担当

10 防塵・防蟻・防虫処理 [6. 5. 5]	防塵, 防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 適用部位: () ・薬剤の加圧注入による防塵・防蟻処理 適用部位 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4
	・薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理 適用部位 ・K2 ・K3 ・K4
11 内部間仕切, 窓, 床 等の木材 [6. 5. 6~9]	RC造等の内部間仕切軸組 ※杉又は松 窓, 出入口その他 吊元枠, 水掛かりの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ※松又は杉 縁甲板及び上がりがまち ※ひのき 壁及び天井下地 ※杉又は松
	野縁等の軒天 層外 (※25形・19形) 屋内 (※19形・25形) [6. 6. 2] 屋外の軒天井, ヒロテ, ヒロテ, ヒロテ, ヒロテ 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受, 吊りボルト及びビームサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示
⑫ 軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 3]	既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う(屋外の試験荷重: ・) ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※改修標準仕様書6. 6. 4(h) (1) (2) による ・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示
13 重量鉄骨壁下地 [6. 7. 3] [表6. 7. 1]	スタッド, ランナーの種類 ※改修標準仕様書6. 7. 3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示
14 ビニル床シート [G] [6. 8. 2. 3]	種類 JIS 記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ・発泡層の ※FS (複層ビニルシート) ・無地 ・帯電防止 ※2.0 ・発泡層の ※F (複層ビニルシート) ・有 ・帯電防止 ※2.0 ・耐薬品性 あるもの ・無地 ・耐薬品性
15 ビニル床タイル [G] [6. 8. 2]	JIS 記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ・F T (複層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ※2.0 ・450×450 ・防汚性 ・2.5 ・3.0 ・K T (コアゾルビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0 ・450×450 ・防汚性 ・3.0 ・F O A (置敷きビニル床タイル) ・無地 ・500×500 ・帯電防止 ・防汚性
16 ビニル幅木 [6. 8. 2]	材質 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上
17 ゴム床タイル [6. 8. 2]	色柄 () 厚さ(mm) ※3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) ()
18 カーペット 敷き [6. 9. 3~4] [表6. 9. 1]	織じゅうたん 種別 パイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考 ・A種・カットパイル ・ワイルドカットパイル ・無地 ・適用する (性能: ※人体帯電圧) ・B種・ループパイル ・ダブダブカットパイル ・柄物 3kV以下 (標準品) ・C種・カット・ループ併用・ワイルドカットパイル (性能: ※人体帯電圧) 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm タフテッドカーペット パイル形状 パイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考 ・カットパイル ・5~7 ・※全面接着工法 ・適用する (性能: ※人体帯電圧) ・ループパイル ・4~6 ・11ループパイル ・4 ・グラブ工法 (3kV以下) ・カット・ループ併用 ・適用しない 下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) () 帯電性 ・適用する (性能: ※人体帯電圧3kV以下) ・適用しない 備考 ()
タイルカーペット	パイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考 ※ループパイル ※第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・第一種 ・第二種 ※500×500 ※6.5 ・カット・ループ併用 第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種
	タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り, 押え金物 ・適用する (材質, 形状等 ・図示) ・適用しない
工事名 市立難波田城資料館空調設備更新工事	図面No. A-02-3
縮尺 No Scale	図面名 特記仕様書 (改修その3)

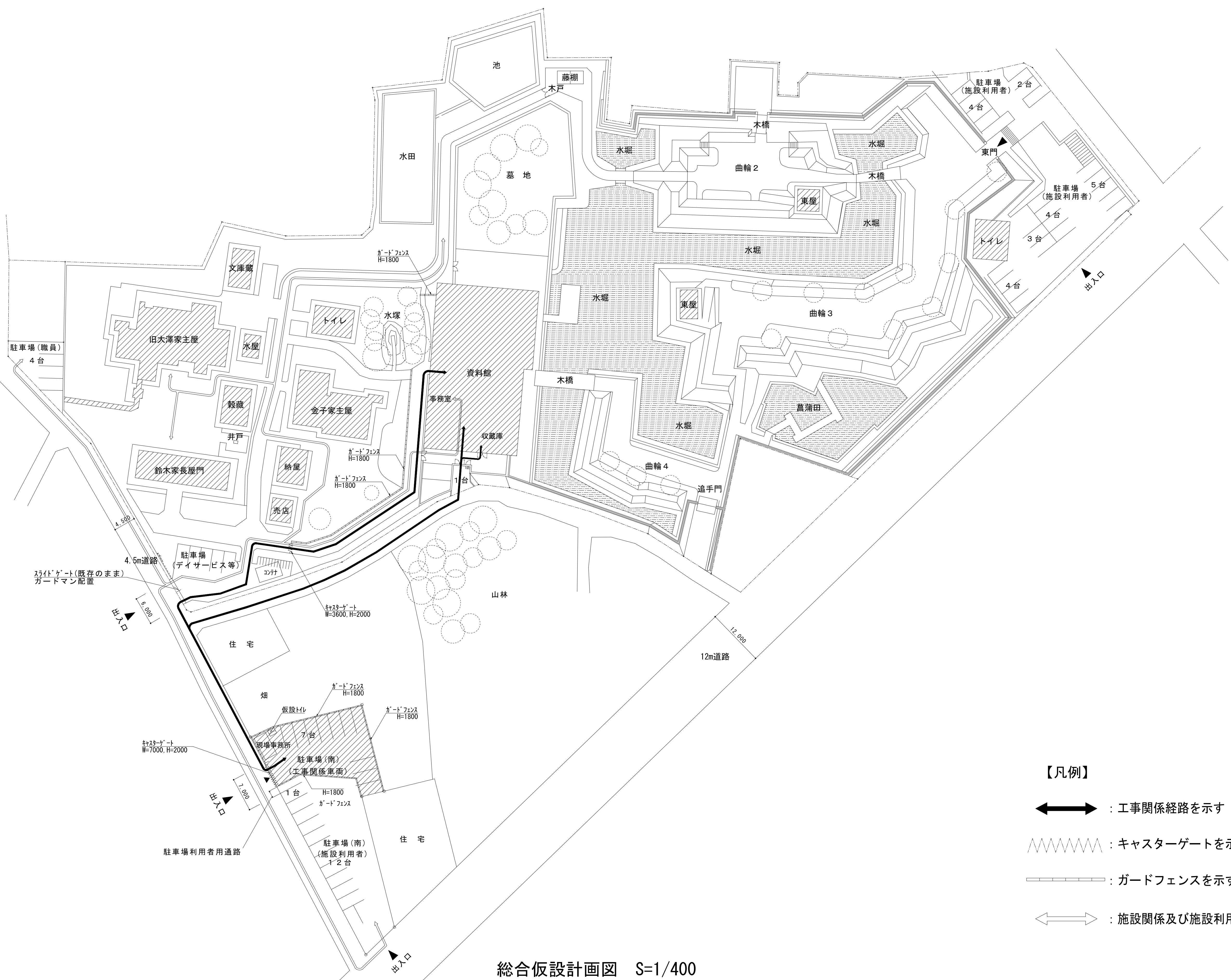
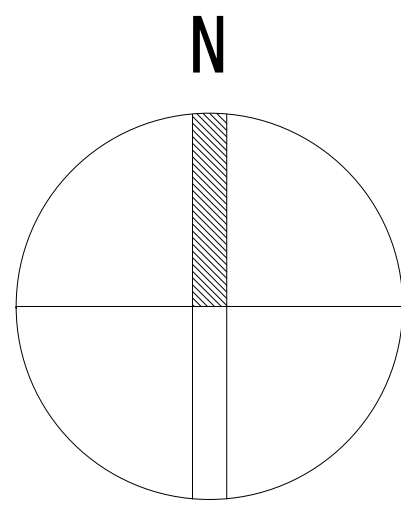


配置図 S=1/400



案内図

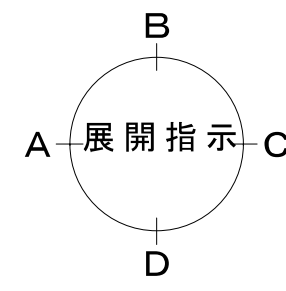
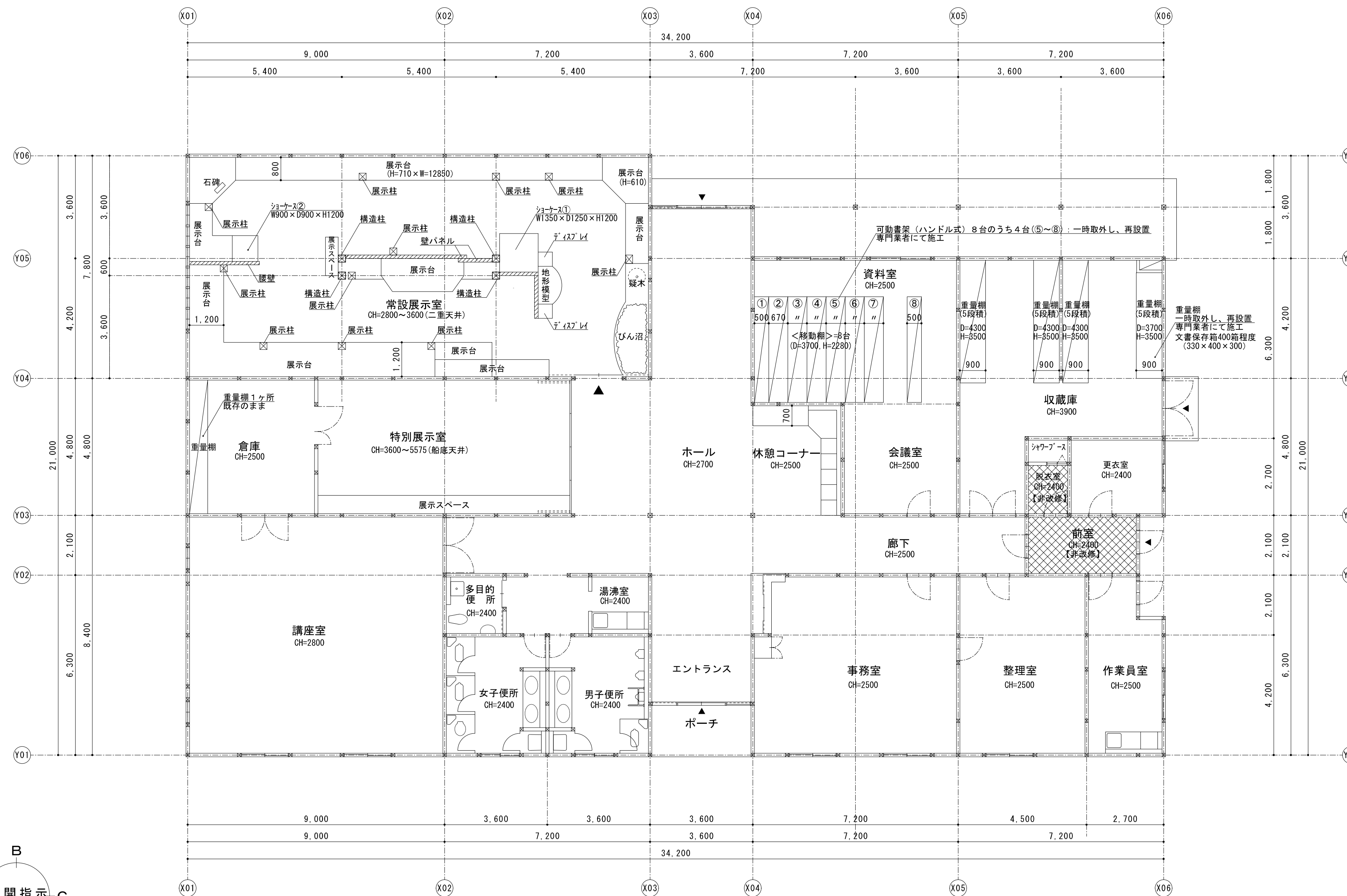
富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号 (有) 梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事	施工年度 令和元年度	図面番号 A-04
							図面名称 案内図、配置図			工事場所 富士見市大字下南畑 地内	縮尺 A1: S=1/400 A3: S=1/800	



- 【凡例】**
- : 工事関係経路を示す
 - : キャスターゲートを示す
 - : ガードフェンスを示す
 - : 施設関係及び施設利用者経路を示す

総合仮設計画図 S=1/400

富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号 (有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事 図面名称 総合仮設計画図	施工年度 令和元年度 工事場所 富士見市大字下南畑 地内	図面番号 A-05 縮尺 A1: S=1/400 A3: S=1/800



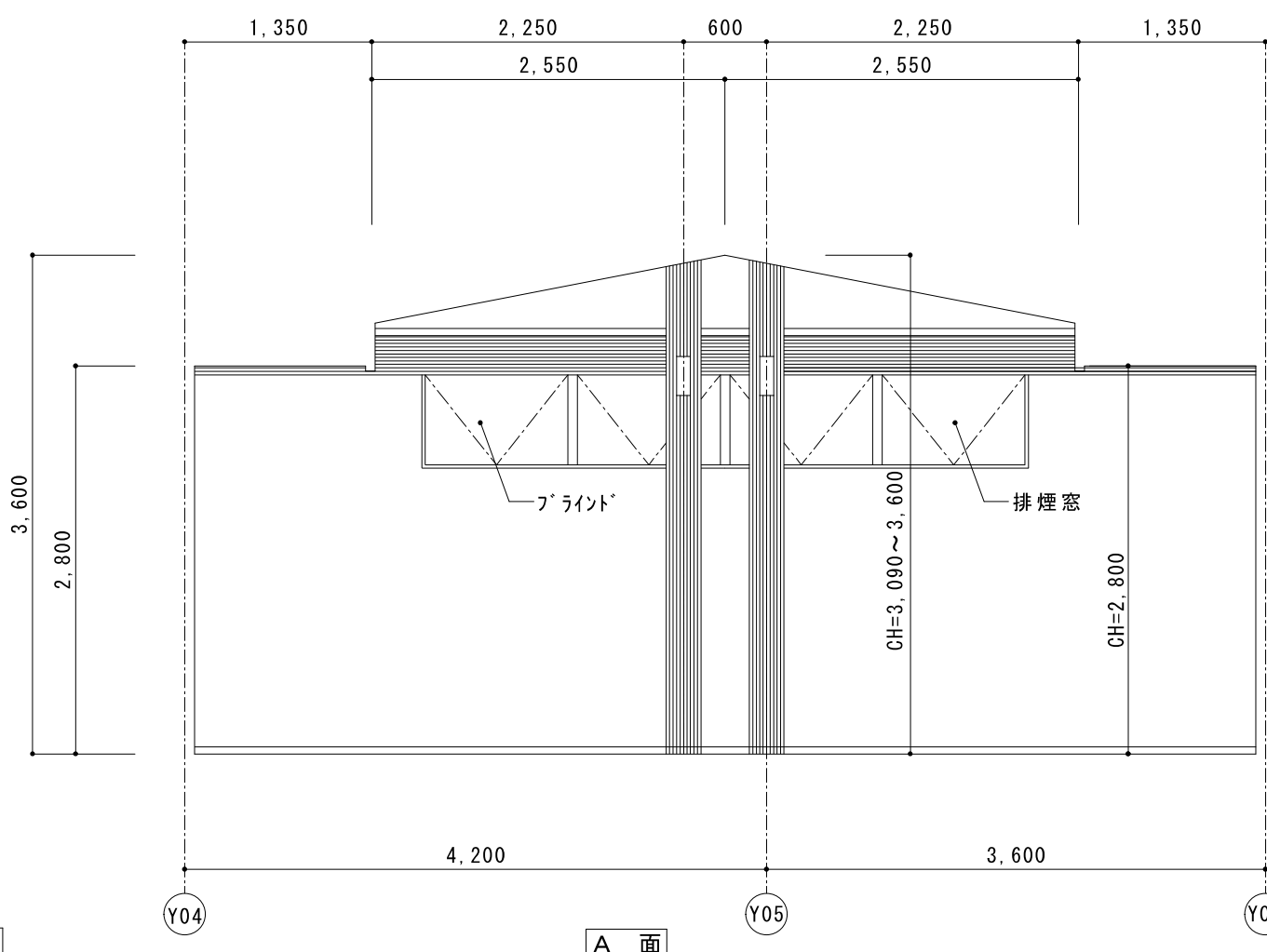
資料館 平面図 1:100

【凡例】

非改修(床・壁・天井)の範囲を示す

- 注1：常設展示室のディスプレイは移動・搬出が不可能なものもあるため、施工業者が天井改修工事に際して固定ディスプレイの養生方法や仮設計画を十分に検討すること。
- 注2：特別展示室のディスプレイについては、施設側にて移設・再設置とする。
- 注3：資料室の移動棚及び収蔵庫の重量棚は、一時取外し、再取付を行う。
また、荷物の梱包、保管場所への移動、保管、復旧も本工事で行う。
- 注4：資料室の天井改修範囲は天井伏図 A-11 参照のこと。

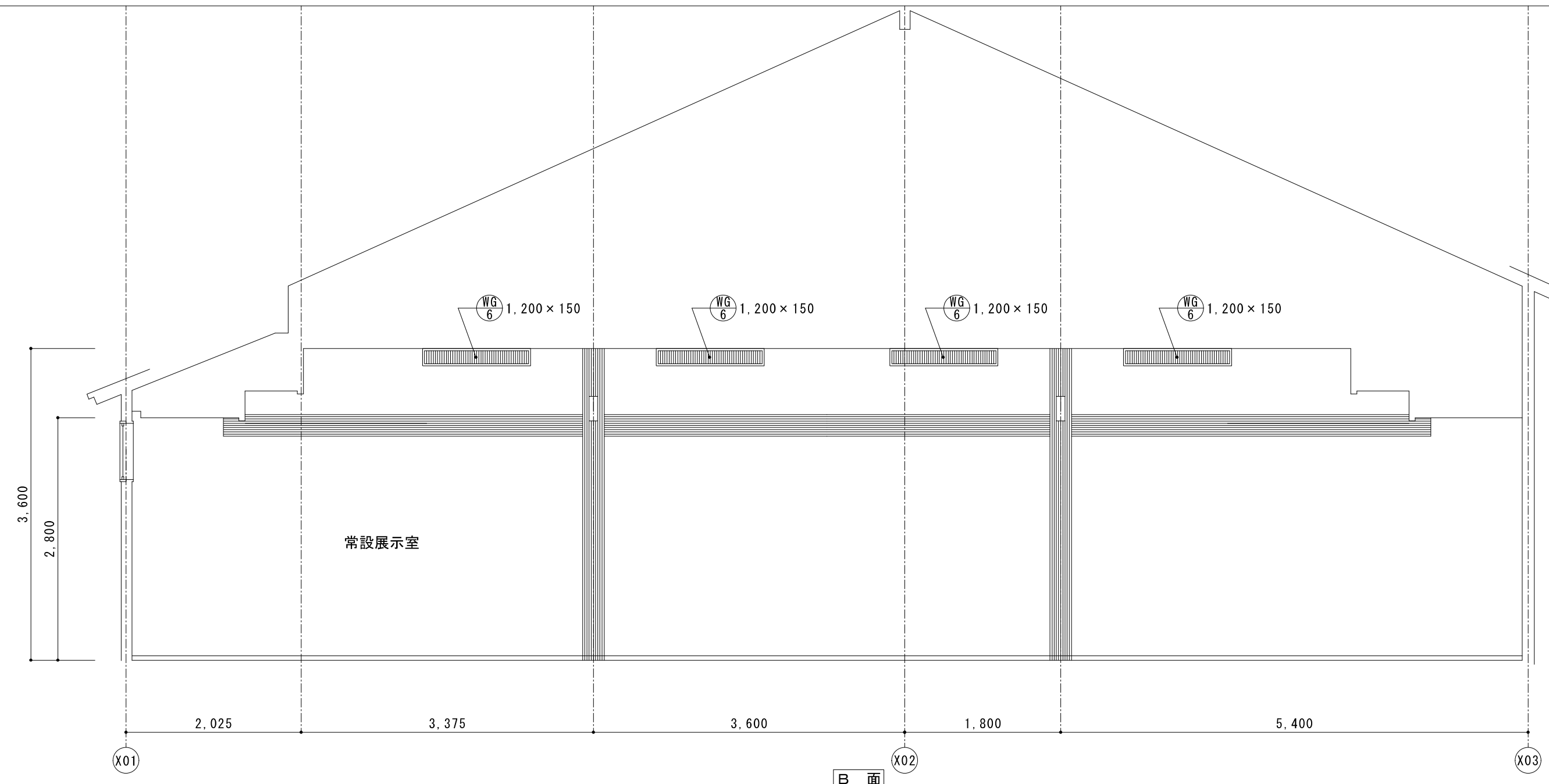
富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号 (有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事	施工年度 令和元年度	図面番号 A-07
	図面名称 資料館 平面図 (改修図)										工事場所 富士見市大字下南畑 地内	縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200



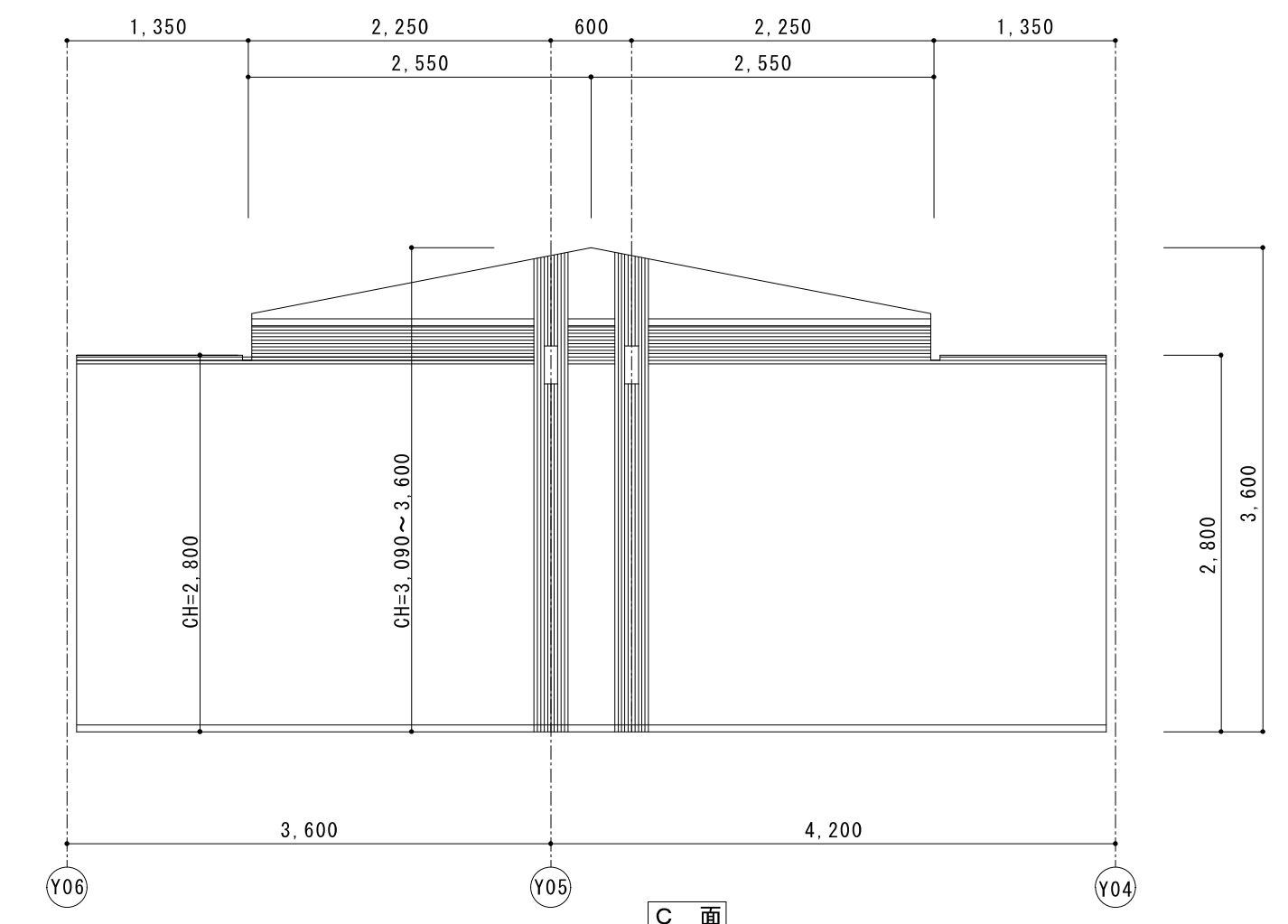
常設展示室

A 面

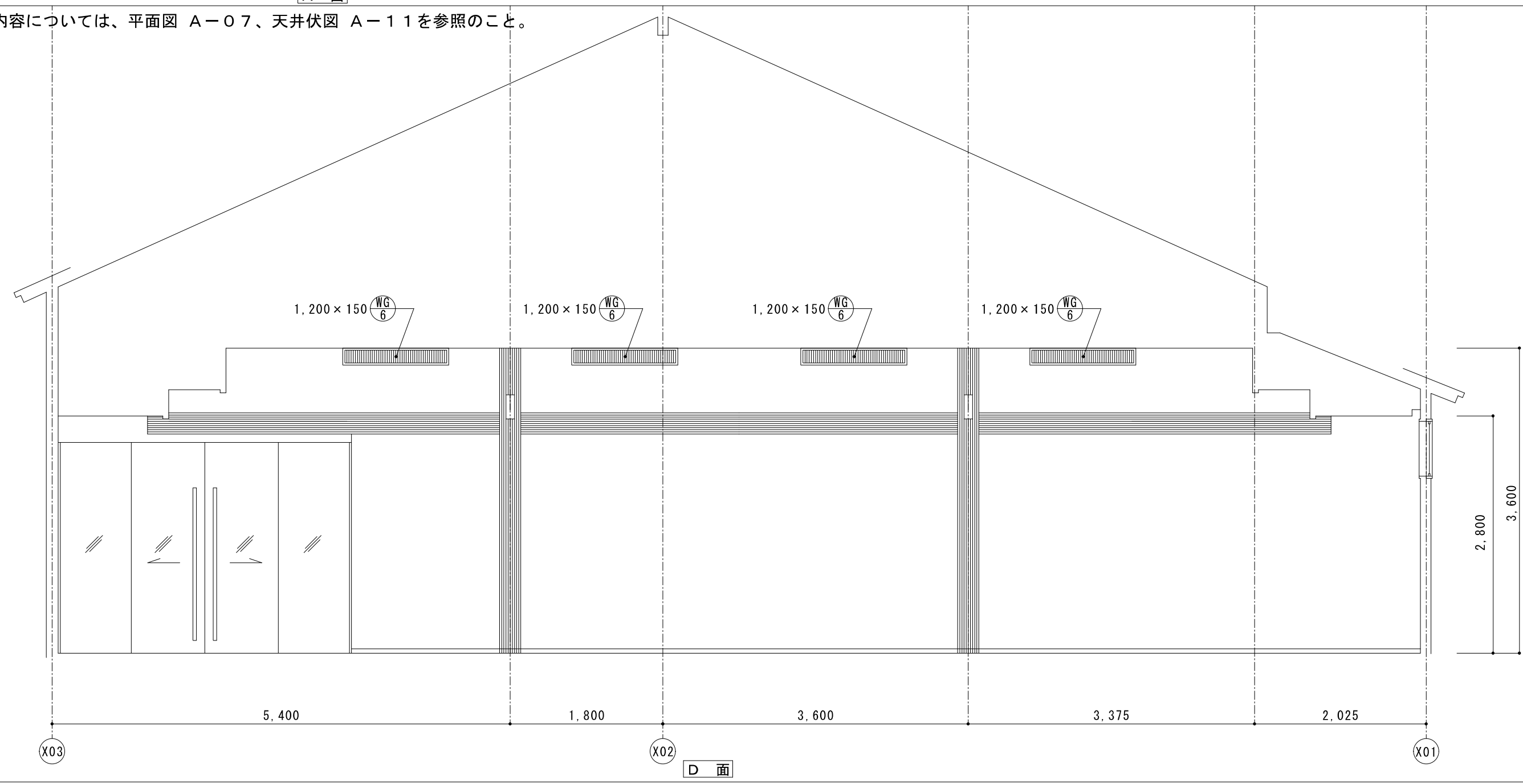
※改修内容については、平面図 A-07、天井伏図 A-11を参照のこと。



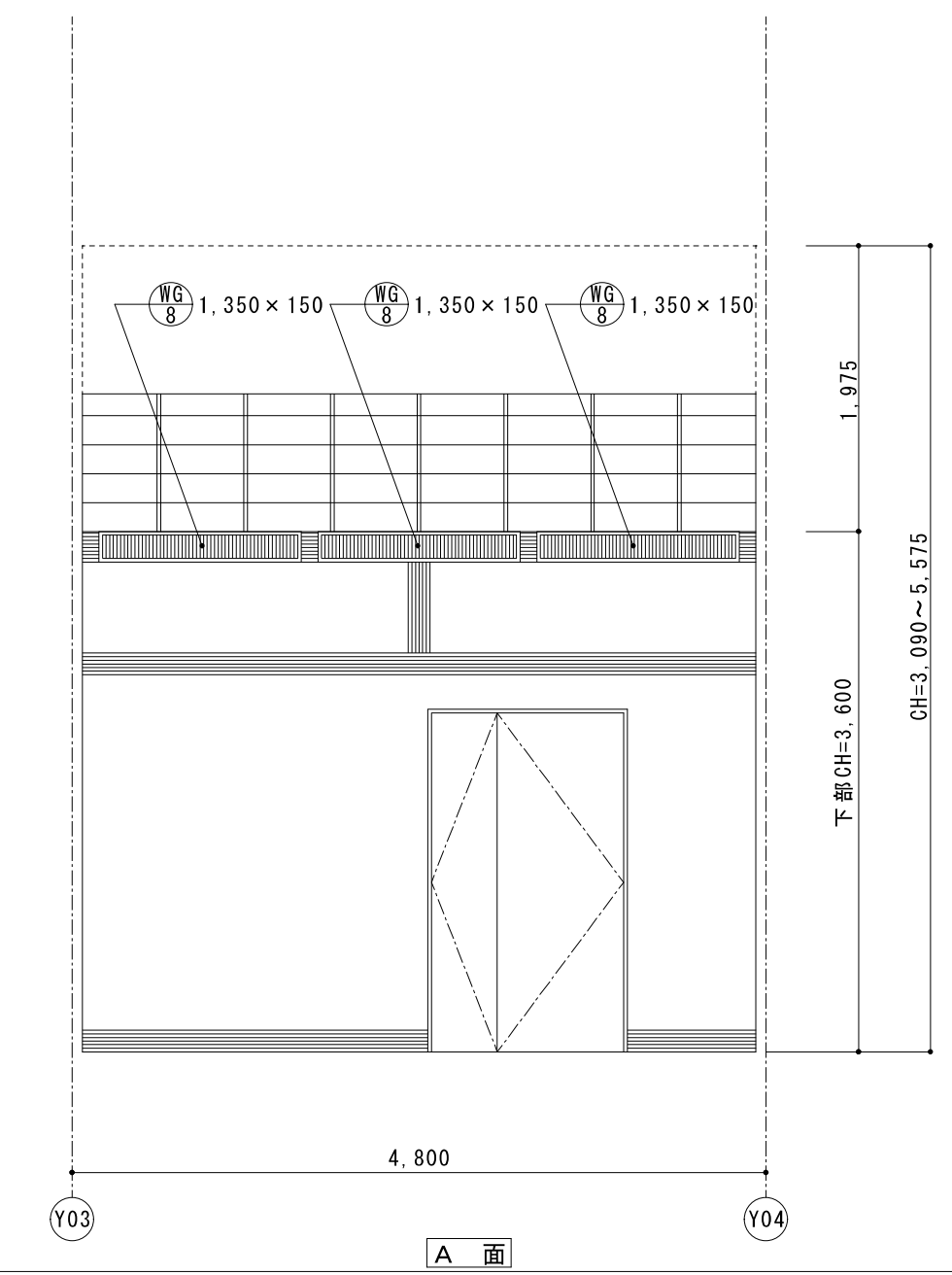
B 面



C 面



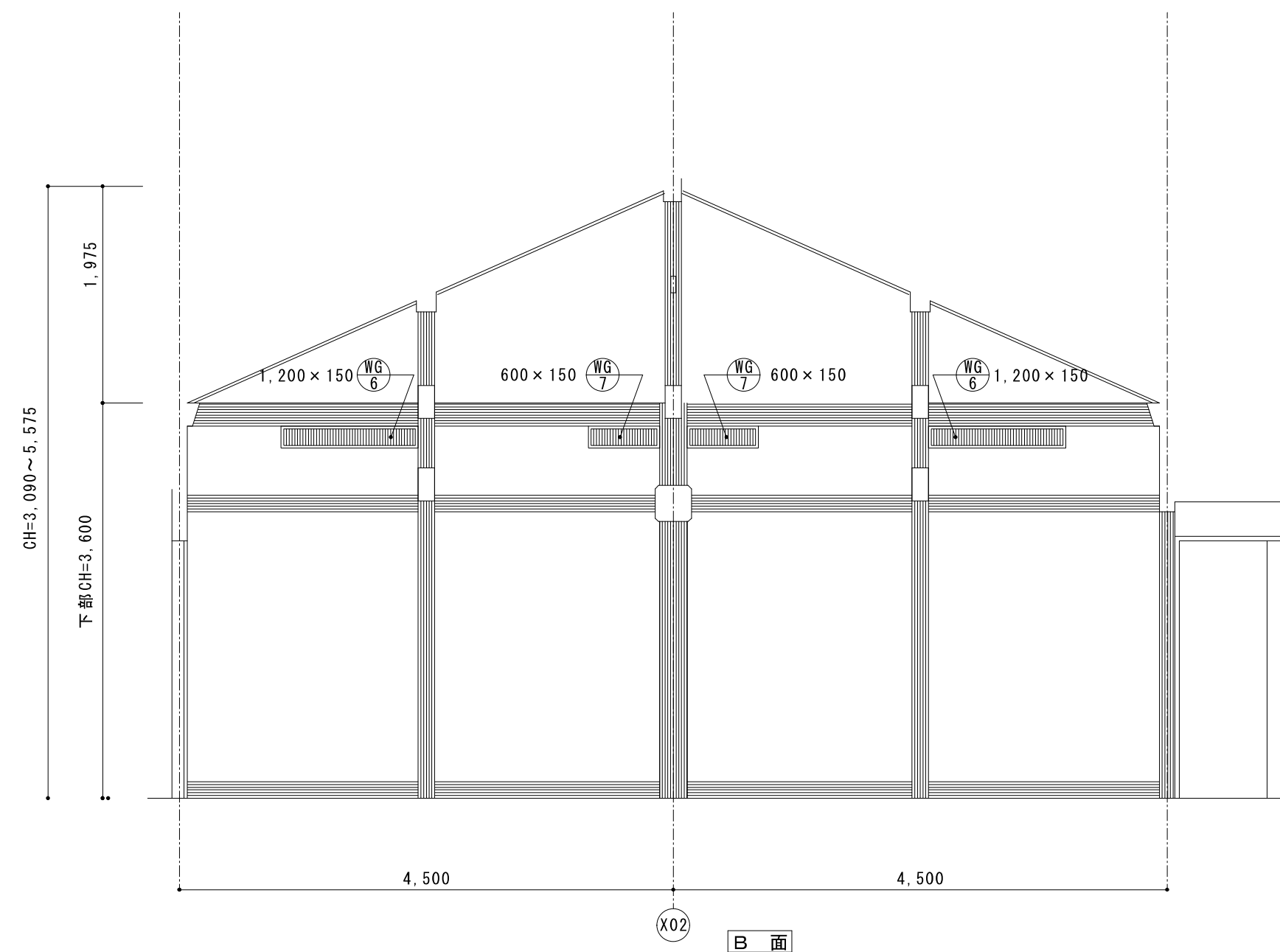
D 面



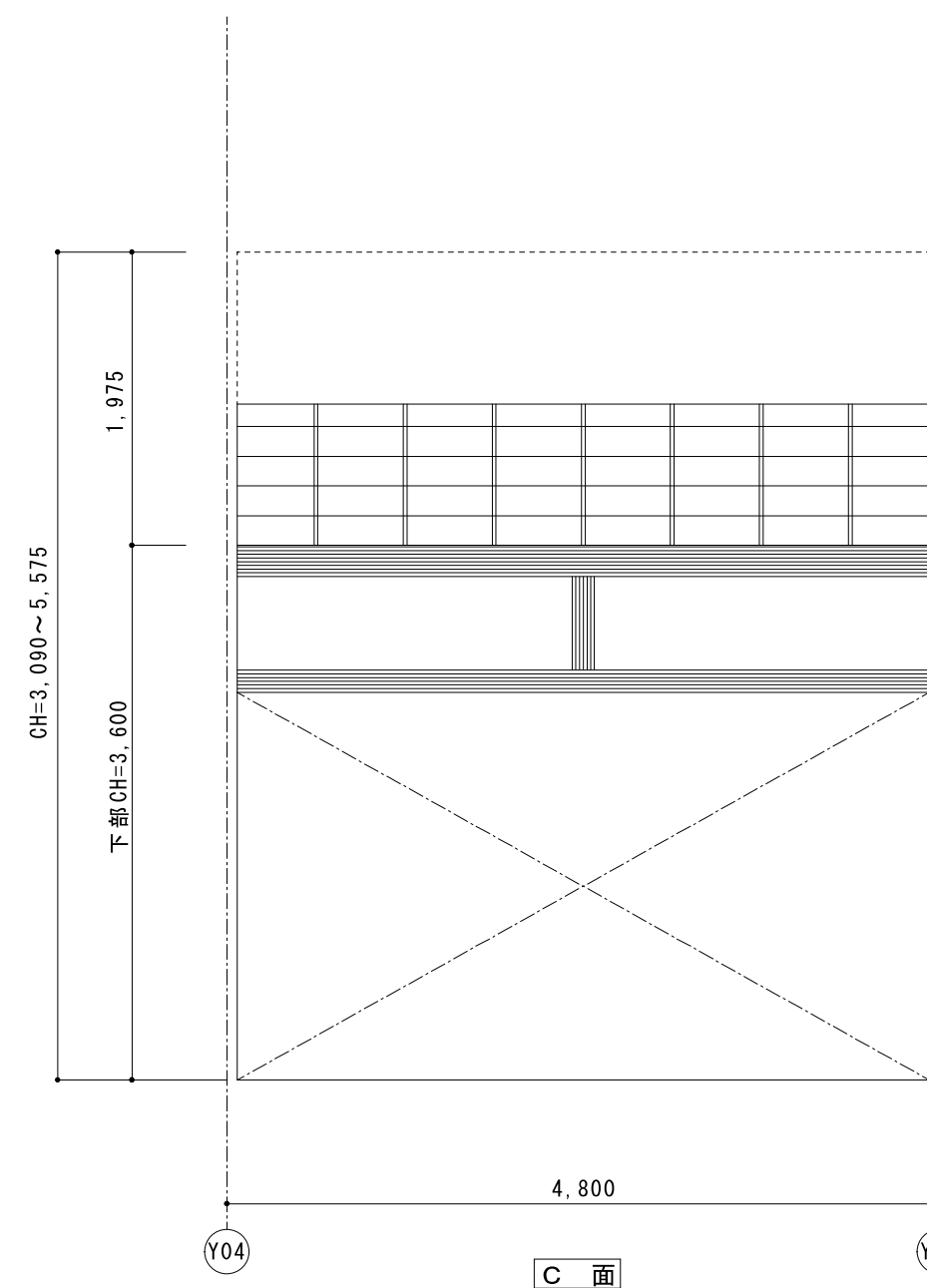
特別展示室

A 面

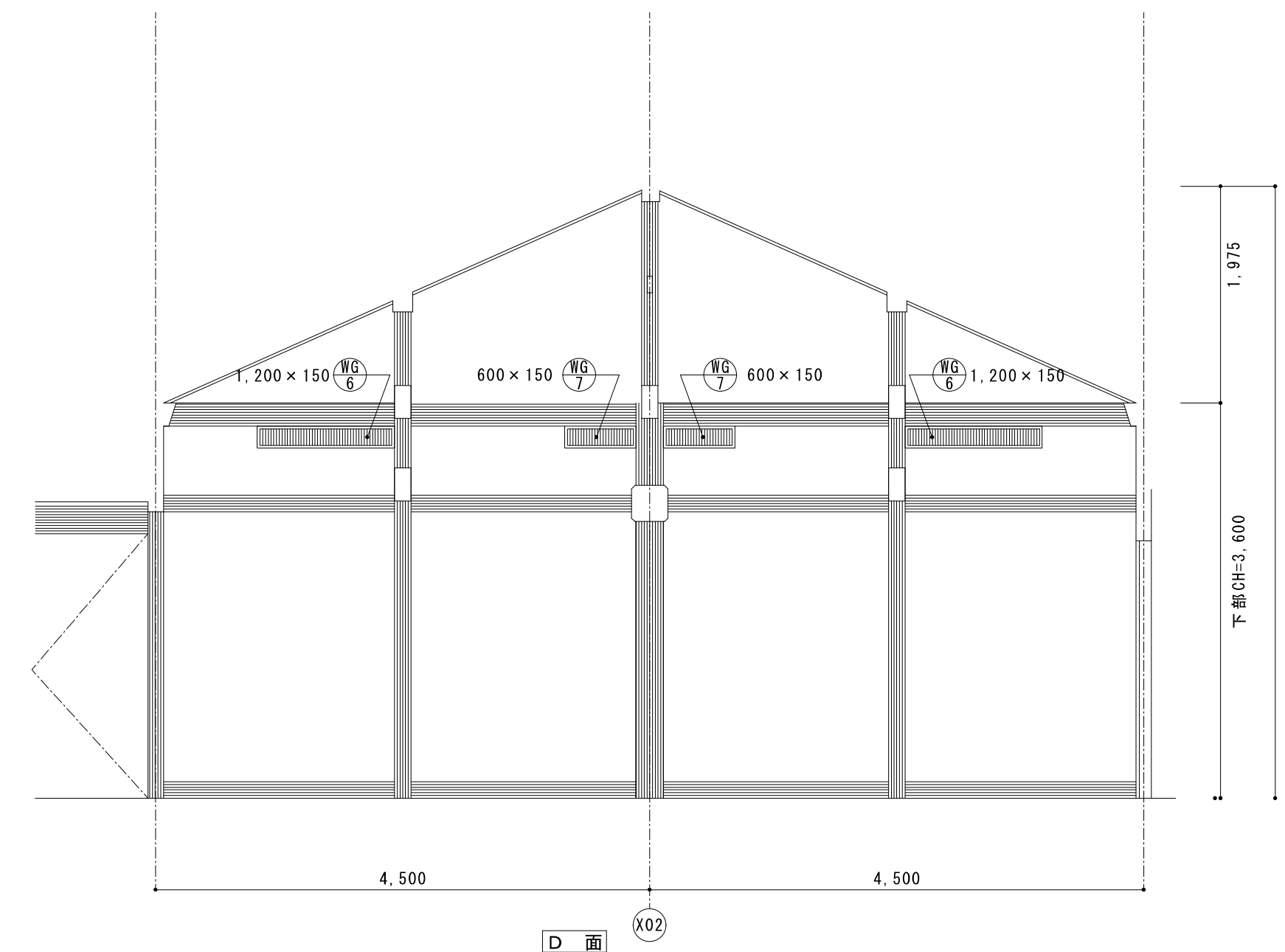
※改修内容については、平面図 A-07、天井伏図 A-11を参照のこと。



B 面



C 面



D 面

富士見市総合政策部管財課

課長	副課長	主査	監督員	主幹

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号

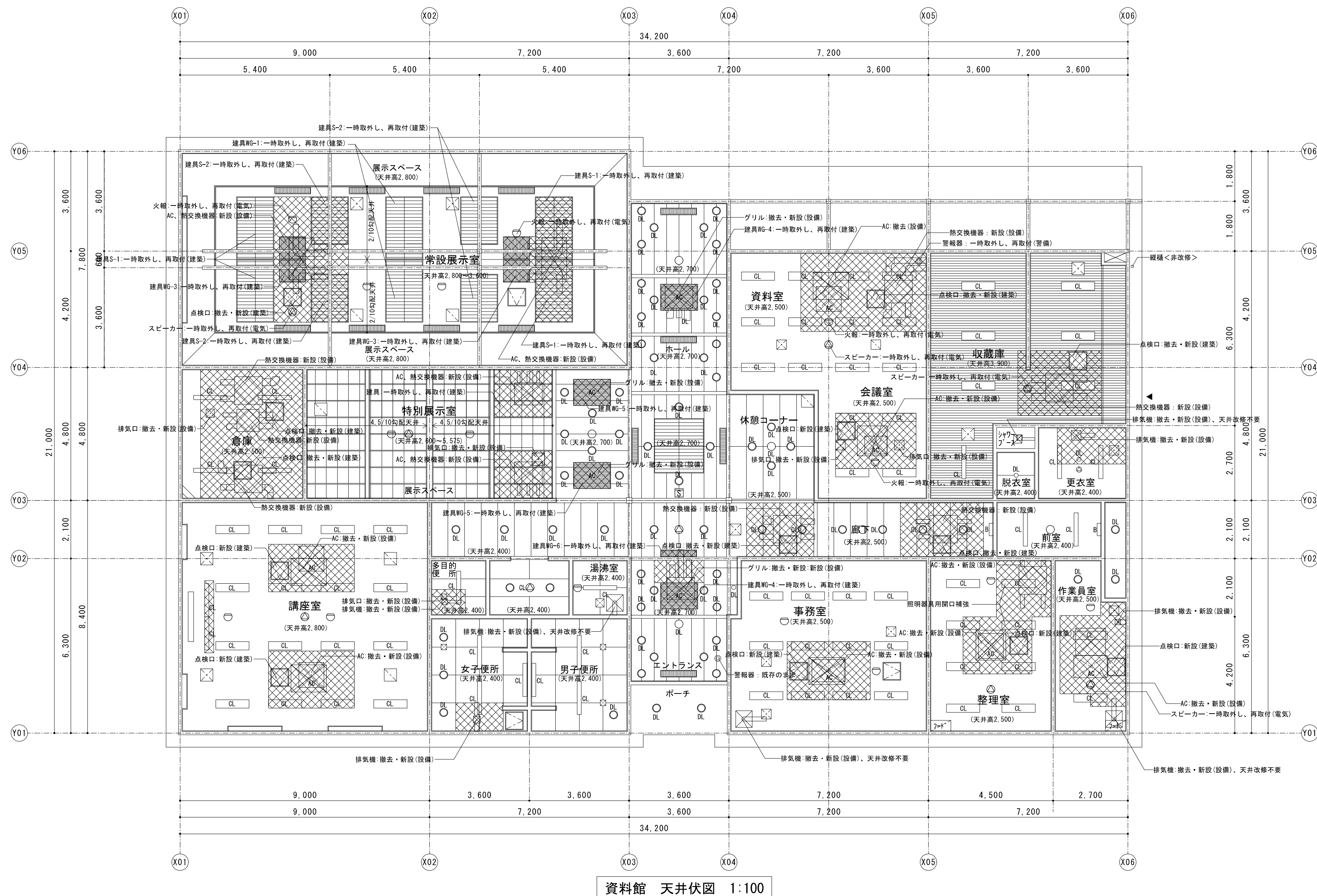
(有) 梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴

JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY

工事名称
市立難波田城資料館空調設備更新工事
図面名称
資料館 展開図 (改修図)

施工年度
令和元年度
工事場所
富士見市大字下南畑 地内

図面番号
A-10
縮尺
A1 : S=1/50
A3 : S=1/100



●凡例

記号	名称・仕様
CL	電気設備による蛍光灯照明器具位置を示す。
DL	電気設備による天井埋め込み照明器具位置を示す。
B	電気設備による壁掛け又は壁埋め込み照明器具位置を示す。
⊗	電気設備による天井埋め込みスピーカー位置を示す。
⊗	機械設備による天井埋め込み空調機位置を示す。
⊗	機械設備による天井埋め込み換気扇用排気口位置を示す。
⊗	天井点検口 (600×600) を示す。
⊗	警報器を示す。

【凡例】

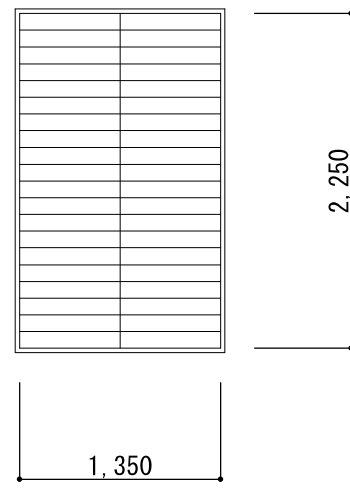
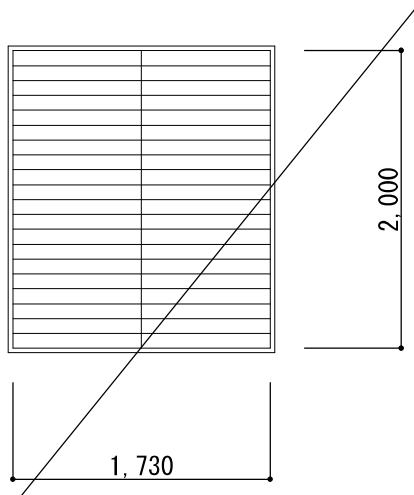
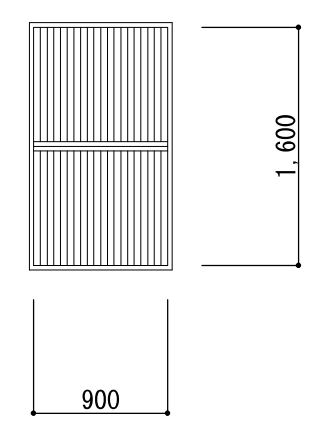
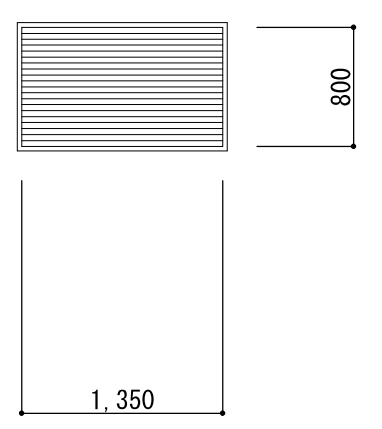
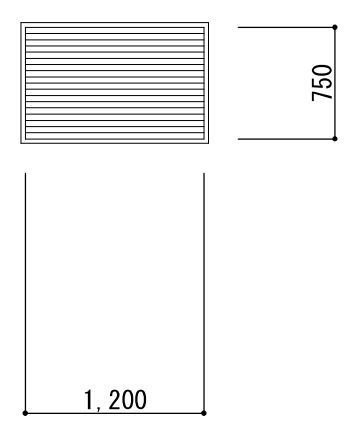
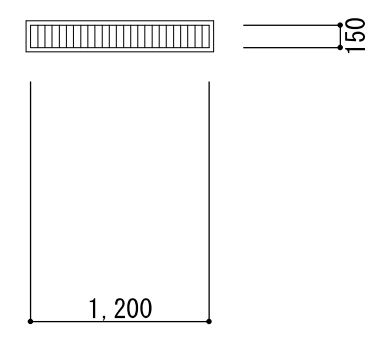
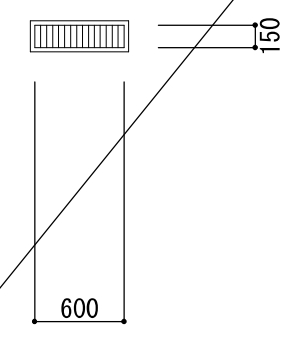
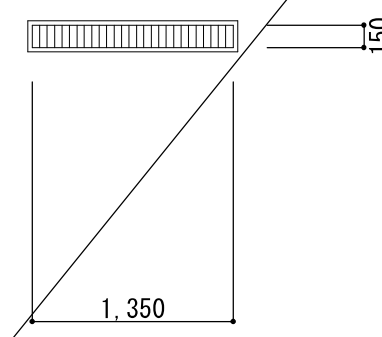
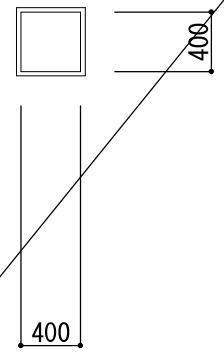
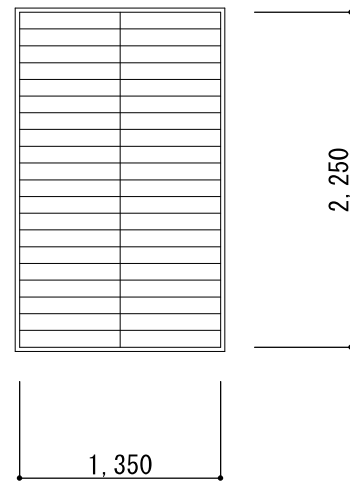
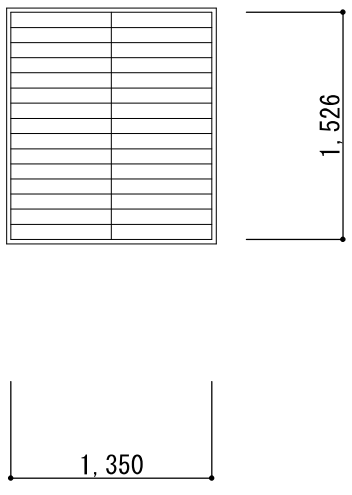
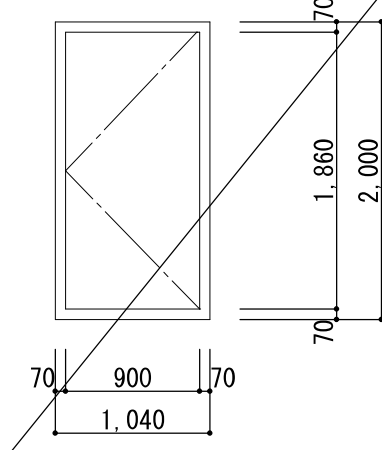
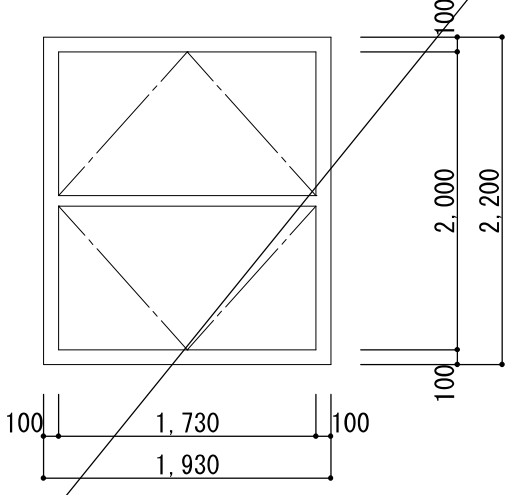
⊗ 天井改修、設備改修、建具一時取外し・再取付範囲等を示す。

※ 照明器具は、すべて撤去、新設（詳細は、電気図参照）

内部仕上表

階	室名	天井高	天井 (現況)		天井 (改修後)		廻り縁 (現況)		廻り縁 (改修後)		備考	点検口		
			軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製付梁	【非改修】	撤去	新設						
1階	ホール	2700	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製付梁	【非改修】	化粧梁	ビクチャーレール、館内案内板、付け柱、見切り縁						
	休憩コーナー	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	化粧梁ビクチャーレール	館内案内板、付け柱、見切り縁						
	廊下	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ				2ヶ	2ヶ		
	特別展示室	(船底天井) 3600~5575 (2重天井)	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木軸組下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	付け柱、化粧梁	付け柱、見切り縁、化粧梁、付け桁、ビクチャーレール、壁面サイン板						
	常設展示室	2800~3600	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ	※ディスプレイについては、専門業者にて移設・再設置			1ヶ	1ヶ		
	事務室	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			1ヶ	1ヶ	
	整理室	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			1ヶ	1ヶ	
	作業員室	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			1ヶ	1ヶ	
	資料室	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			1ヶ	1ヶ	
	会議室	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			1ヶ	1ヶ	
	講座室	2800	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			1ヶ	1ヶ	
	更衣室	2400	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			2ヶ	2ヶ	
	脱衣室	2400	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ					
	前室	2400	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ					
	倉庫	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			2ヶ	2ヶ	
	多目的トイレ	2400	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ					
	男子トイレ	2400	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ					
	女子トイレ	2400	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ					
湯沸室	2400	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ						
シャワー室	—	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツギ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ						
収蔵庫	3900	木軸組下地、厚15杉縁甲合板張り 木材保護着色塗料2回塗り	木軸組下地、厚15杉縁甲合板張り 木材保護着色塗料2回塗り	木製 (杉) 36×27	【非改修】	ブラインド	ブラインド	壁面サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ			1ヶ	1ヶ		

※天井改修工事では軽量鉄骨下地及び木軸組下地、仕上材を撤去・新設とする。
 ※天井改修時における警報器の一時取外し・再取付については、警備会社と調整を行うこと。

名称	WG 1 木製 固定ガラリ		WG 2 木製 固定ガラリ		WG 3 木製 可動ガラリ (ACリターンガラリ)		WG 4 木製 可動ガラリ (ACリターンガラリ)		WG 5 木製 可動ガラリ (ACリターンガラリ)														
																							
使用場所	常設展示室 採光換気風道 (天井TL用)	数量	2	ホール展示室 採光換気風道 (休憩コーナーTL用)	数量	1	常設展示室 空調機用リターンガラリ	数量	2	ホール 空調機用リターンガラリ	数量	2	特別展示室 空調機用リターンガラリ	数量	2								
材料・仕上	檜 木材保護着色塗装	枠見込		檜 木材保護着色塗装	枠見込		檜 木材保護着色塗装	枠見込		檜 木材保護着色塗装	枠見込		檜 木材保護着色塗装	枠見込									
ガラス		建具見込	90		建具見込	90		建具見込	90		建具見込	90		建具見込	90								
附属金物	家具用六角化粧ボルト (固定タボ風)			家具用六角化粧ボルト (固定タボ風)			家具用六角化粧ボルト (固定タボ風)			家具用六角化粧ボルト (固定タボ風)			家具用六角化粧ボルト (固定タボ風)										
備考	照明器具更新に伴う建具一時取外し、再取付2ヶ: 建築工事 ※ 天井伏図 A-11参照			天井面へ木製枠組にて取付			天井改修工事に伴う建具一時取外し、再取付2ヶ: 建築工事 ※ 天井伏図 A-11参照			天井改修工事に伴う建具一時取外し、再取付2ヶ: 建築工事 ※ 天井伏図 A-11参照			天井改修工事に伴う建具一時取外し、再取付2ヶ: 建築工事 ※ 天井伏図 A-11参照										
名称	WG 6 木製 可動ガラリ (AC吹出ガラリ)		WG 7 木製 可動ガラリ (AC吹出ガラリ)		WG 8 木製 固定ガラリ (斜め天井取付)		WG 9		WG 10														
																							
使用場所	常設展示室 特別展示室 ホール 空調吹出しガラリ	数量	18	特別展示室 空調吹出しガラリ	数量	4	特別展示室	数量	24		数量	2		数量	2								
材料・仕上	檜 木材保護着色塗装	枠見込		檜 木材保護着色塗装	枠見込		檜 木材保護着色塗装	枠見込			枠見込			枠見込									
ガラス		建具見込	90		建具見込	90		建具見込	90		建具見込	90		建具見込	90								
附属金物	家具用六角化粧ボルト (固定タボ風)			家具用六角化粧ボルト (固定タボ風)			ブラケット																
備考	天井改修工事 (ホール部) に伴う建具一時取外し、再取付1ヶ: 建築工事 ※ 天井伏図 A-11参照			壁面へ木製枠組にて取付 (木製チャンパー共建具工事: 建築工事)			梁側面へブラケットにて取付け ※化粧梁側面へ18ヶ、壁面へ6ヶの合計24ヶ																
名称	S 1 木製 儉純風障子		S 2 木製 儉純風障子		TL 1 鋼製片開き採光排煙換気用手动式トップライト		TL 2 鋼製両開き採光排煙換気用手动式トップライト																
																							
使用場所	常設展示室 照明ボックス	数量	4	常設展示室 照明ボックス	数量	4	常設展示室屋根部	数量	2	ホール中央屋根部	数量	1											
材料・仕上	檜 木材保護着色塗装	枠見込		檜 木材保護着色塗装	枠見込		溶融亜鉛処理鋼板メラミン焼付け塗装 ブラック (艶消し)	枠見込		溶融亜鉛処理鋼板メラミン焼付け塗装 ブラック (艶消し)	枠見込												
ガラス	ガラス繊維シート (ワーロン) 厚1.5	建具見込	36	ガラス繊維シート (ワーロン) 厚1.5	建具見込	36	採光部: 6.8mm納入型ガラス入り 中空ペアドーム: ポリカーボネート複層板厚9	建具見込		採光部: 6.8mm納入型ガラス入り 中空ペアドーム: ポリカーボネート複層板厚9	建具見込												
附属金物	家具用六角化粧ボルト (固定タボ風) 落下防止用チェーン			家具用六角化粧ボルト (固定タボ風) 落下防止用チェーン			排煙用オペレーター装置一式 (ハッド隠蔽) 二重水切 他付属金物一式 ブラインド			排煙用オペレーター装置一式 (ハッド隠蔽) 二重水切 他付属金物一式 ブラインド													
備考	天井改修工事、照明器具更新に伴う建具一時取外し、再取付4ヶ: 建築工事 ※ 天井伏図 A-11参照			天井改修工事、照明器具更新に伴う建具一時取外し、再取付4ヶ: 建築工事 ※ 天井伏図 A-11参照																			
富士見市総合政策部管財課		課長		副課長		主査		監督員		主幹		一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (5) 第6029号 大臣登録第137820号		JOB MANAGER		JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立難波田城資料館空調設備更新工事	施工年度	令和元年度	図面番号	A-13
												(有) 梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴						図面名称	資料館 建具表 (改修図)	工事場所	富士見市大字下南畑 地内	縮尺	A1: S=1/50 A3: S=1/100

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

- 1.1 工事名 市立難波田城資料館空調設備更新工事
- 1.2 工事場所 富士見市大字下南畑 地内
- 1.3 工期 契約日から 令和2年2月28日

1.4 工教科目（○印の付いたものを適用する）

<ul style="list-style-type: none"> ○ 電灯コンセント設備 ○ 動力設備 ○ 電熱設備 ・ 雷保護設備 ・ 受変電設備 ・ 静止型電源設備 ・ 発電設備 ・ 構内情報通信網設備 ・ 構内交換設備 ・ 情報表示設備 ・ 映像、音響設備 ○ 拡声設備（非常放送設備） ・ 誘導支援、呼出し設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ共同受信設備 ・ テレビ電波障害防除設備 ・ 監視カメラ設備 ・ 駐車場管制設備 ・ 防犯、入退室管理設備 ○ 自動火災報知設備 ・ 自動閉鎖設備 ・ ガス漏れ火災警報設備 ・ 電話配管設備 ・ 中央監視制御設備 ・ 昇降機設備
--	---

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・ 有（ 工期：令和 年 月 日）
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
 - 1 専任期間の始期
 - 請負契約締結の日から、(○)現場施工に着手するまで（現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・ 令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 2 専任期間の終期
 - 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 3 専任期間の中断
 - 自然災害の発生又は理文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 1.7 建物概要

1.8 工事概要

- ・ 照明器具のLED化
- ・ 空調機器更新に伴う電源工事
- ・ 空調機器更新に伴う支障部位の弱電機器の撤去、再取付

- 1.9 同時期発注の関連工事 ○ 建築工事 ○ 機械設備工事

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
 - (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官営構部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事情）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
 - なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
 - (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
 - (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。）

項	目	特記事項
①	機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとす。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③	工所用電力・水	本工事に必要な電力及び水は、構内から使用できるものとしその仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。
④	工所用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
⑤	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6	監督員事務所	本工事で ・ 設ける（規模 ） ※設けない
⑦	保 險	受注者は工事的目的及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている相立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
⑧	再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨	建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
⑩	完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り5部とする。
⑪	発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分をするもの（銅屑・鉄屑 ） (3) 再資源化を図るもの（蛍光管 ） 蛍光管等は再資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

1.2 金属電線管の塗装

1.3 鍵

1.4 地中電線路

⑮ 回路の種別 行先の表示

⑯ 電線の接続

1.7 電線管の接続

1.8 残土処分

1.9 再生砂・再生アスコン

⑰ 工事実績情報の登録

⑰ 耐震施工

⑰ あと施工アンカー

⑰ はつり

⑰ 改修部分の足場

⑰ その他

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。ただし、見えかき部の塗装については監督員の指示による。
壁等の鍵は、既存壁及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管種別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所敷き均しとする。

契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1検入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

請負代金が500万円以上のすべての工事について、受注時、変更時及び完成時に監督員の承諾を受けた後、工事実績情報を登録し、登録結果を監督員に報告する。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設			一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	
上階階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	
	水 槽 類 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	
	水 槽 類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	

【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器
・配電盤 ・発電装置(防炎用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置
上階階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)

あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてX線撮影調査を実施してから、ダイヤモンドカッターを使用すること。

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・ B種(単管本足場) ・ C種 ・ D種

※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。

(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。

<ul style="list-style-type: none"> (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 (6) 改修工事等を行う場合、施工する前後に工事対象面所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 (7) 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 (8) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 <p>※以下は、高等学校および特別支援学校の改修工事（夏休み工事）に適用する。 (9) 騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として夏休み期間に設定すること。</p> <p>以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。</p>
--

2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する）

項	目	特記事項
①	電灯コンセント設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2ロコンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定を下記基準より実施すること。 ・ JIS C 7612「照度測定方法」 ・ 学校環境衛生基準 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継ぎ 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継ぎを使用する。ただし、ボード張りや、ボード裏面と塗りしろカバーの間に隙れないように施工した場合は、継ぎを必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルこころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
②	動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3	雷保護設備	(1) 受雷部突針はLR1とする。 (2) 水平導体又はメッシュ導体は、太さ38mm以上の銅より線、t3×25mm以上の太さの銅帯又はt4×25mm以上の太さのアルミ帯とする。 (3) 引下げ導線は、太さ22mm以上の銅より線を使用する。
4	受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 (端末処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用) 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 柱上高圧気中 負荷開閉器(PAS) 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 主 遮 断 装 置 動力用 kVA× 台 変圧器設備容量 電圧相 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar× 台 直列リアクトル ・6% ・13% kVar× 台
5	構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6	静止型電源設備	・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・(概要)
7	発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8	構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨	自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10	昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官営構部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事情）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ

壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ（一般）	床下～中心	1,300	1,200
”（身体障害者用）	”	1,100	1,000
”（人感センサー切換用）	”	2,000	2,000
コネクタ、電話用フット、直列ユニット	”	300	400
”（和室）	”	150	200
”（台上下）	台上～中心	150	500
”	床下～中心	500	500
防水型コンセント	”	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
分電盤、制御盤、開閉器箱	”	900	900
呼出ボタン（身体障害者用）	”	1,800	1,800
復帰ボタン（ ” ）	”	2,000	2,000
廊下表示灯（ ” ）	”	2,000	2,000
端子盤	”	2,000	2,000

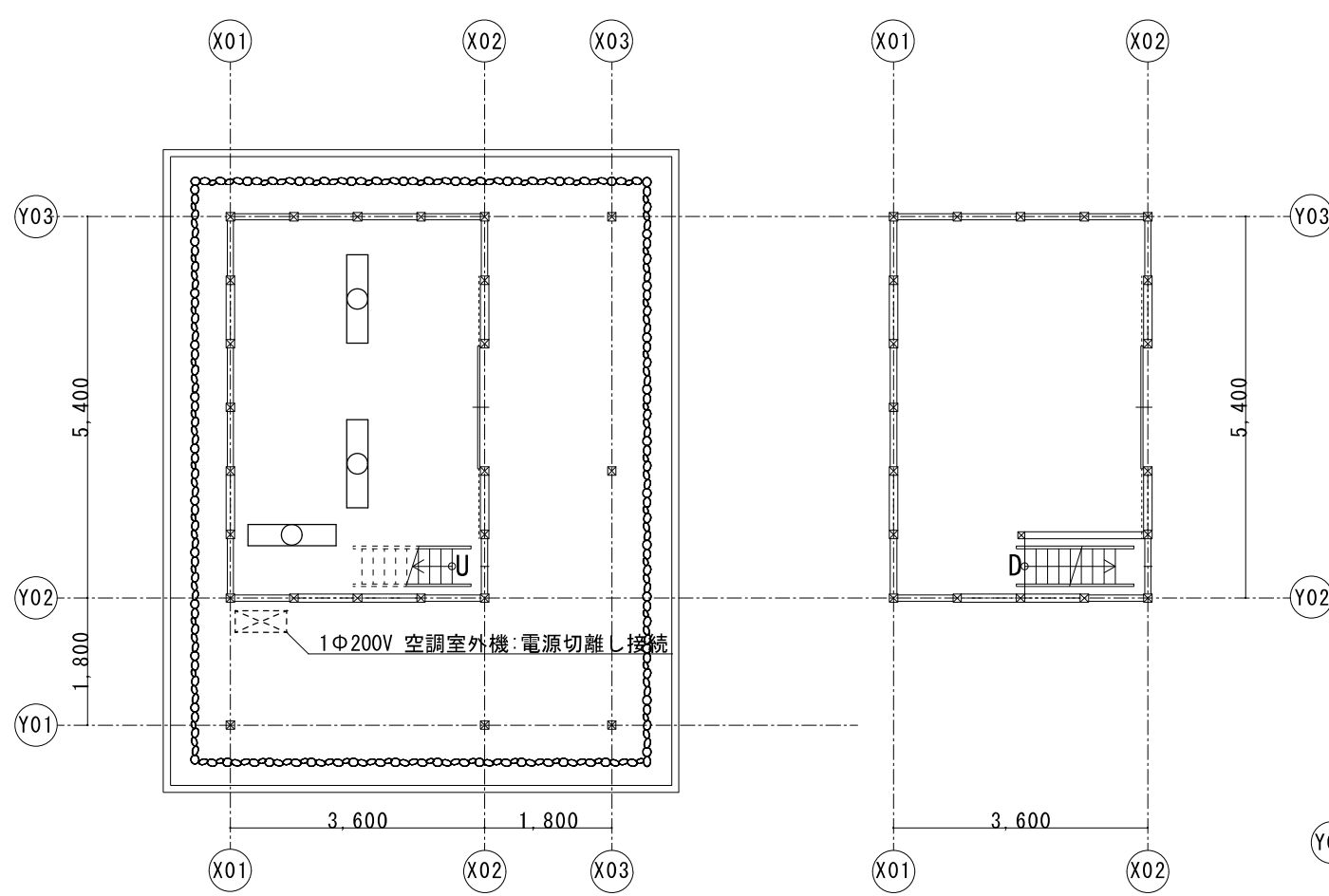
3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A1版とした縮尺とする。
- 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

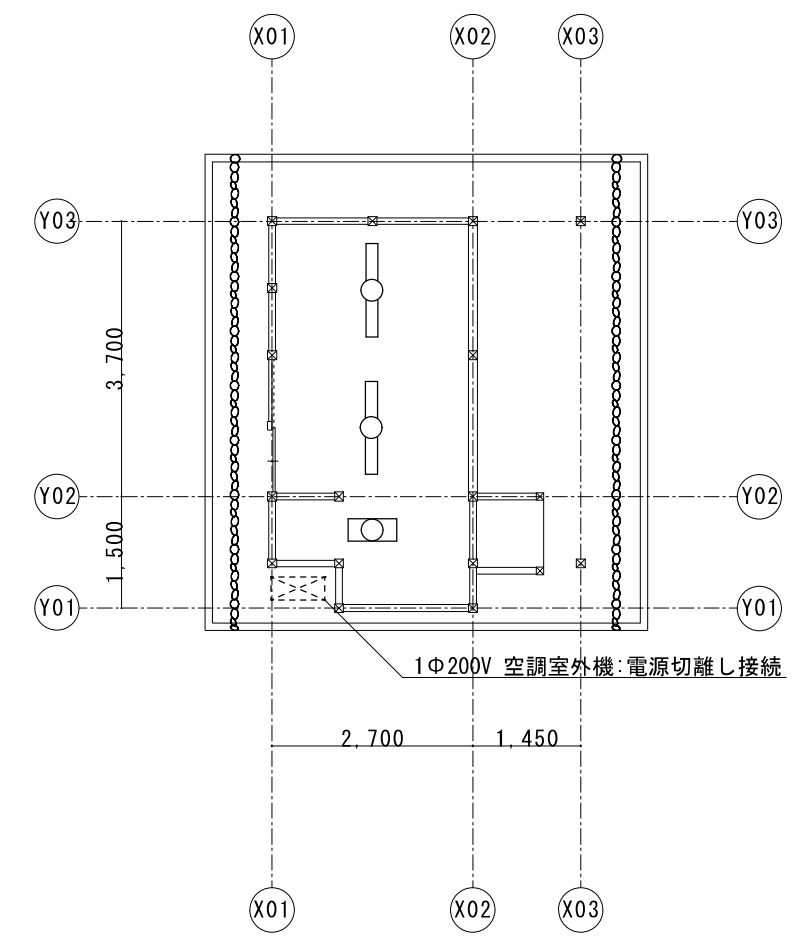
舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書	
第1条	この工事の特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
第2条	受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） m3 ・中間処理施設 市 地内、（株） ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず） ・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
第3条	2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 受注者は、舗装版切断作業を行いつながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
第4条	2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「 manifests」という。）により管理するものとする。
第5条	受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時に manifests 原本を提示する。 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

官公庁等打ち合わせ相手	建築： _____
打ち合わせ担当者	昇降機： _____
	施設管理者： _____
	電力会社： _____
	電話会社： _____
	ケーブルテレビ会社： _____
	消防本部： _____

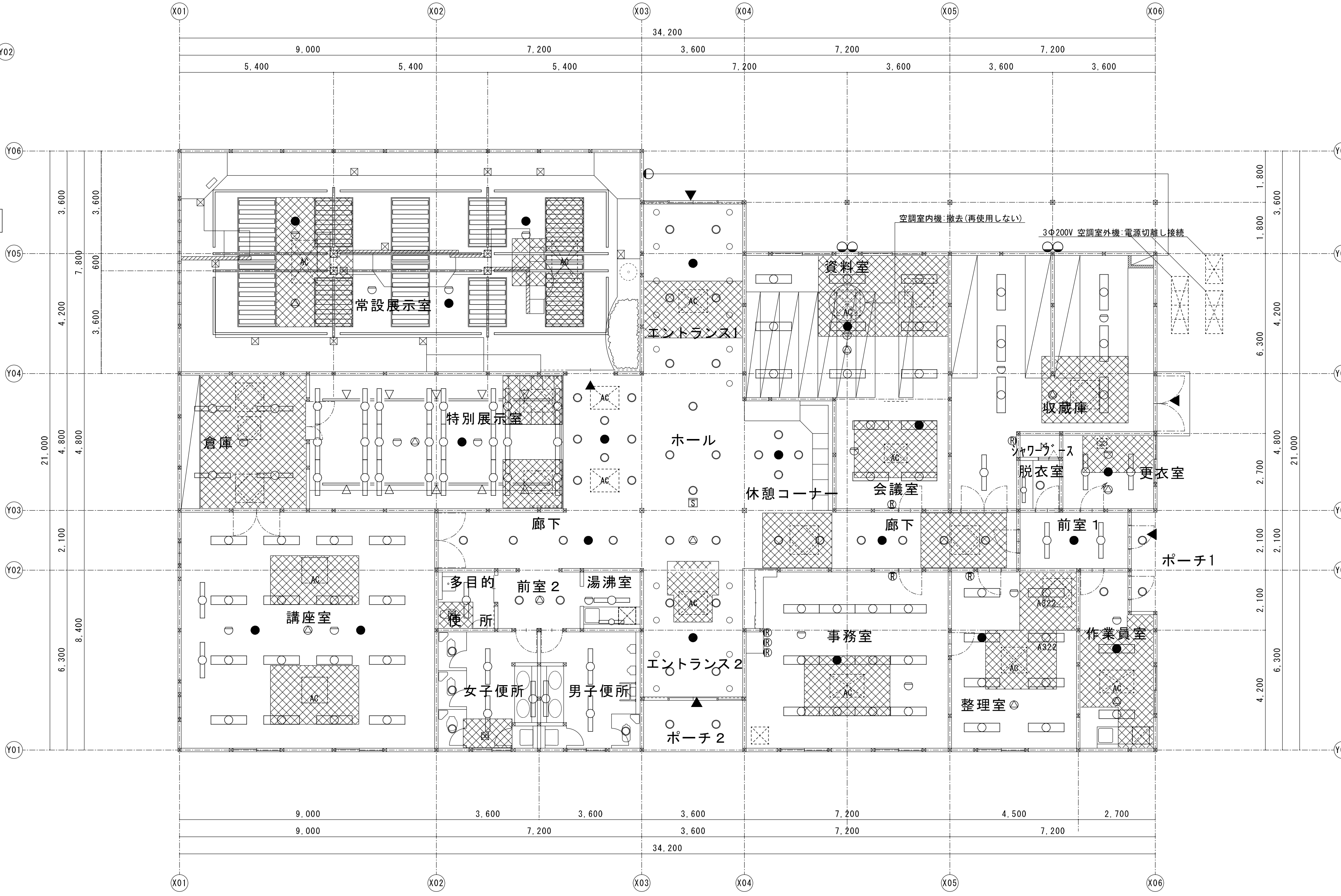
設計年月日	富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図面番号
								市立難波田城資料館空調設備更新工事	電気設備工事特記仕様書	E-01



納屋 1階平面図 1:100 納屋 2階平面図 1:100



売店 1階平面図 1:100



資料館 平面図 1:100

部屋名	新設	撤去
収蔵庫	B321×1, B322×6	B41×1, B42×6
更衣室	A321×2, K1B×1	A41×2, K1B×1
脱衣室	F27×1, H201×1	F18×1, H21×1
前室1	A321×2, K1B×1	A41×2, K1B×1
ポーチ1	I60×2	I60×2
作業員室	B322×1, B322B×1	B42×1, B42B×1
	F27×1	F18×1
整理室	B322×5, B322B×1	B42×7, B42B×1
	A322×2	
事務室	A322×11, A322B×1	A42×11, A42B×1
会議室	A322×3, A322B×1	A42×3, A42B×1
資料室	A322×8, A322B×1	A42×8, A42B×1
廊下	FW27×12, K1B×2	F27×12, K1B×2
休憩コーナー	FW27×4, K1B×1	F27×4, K1B×1
エントランス1	FW27×6, K1B×1	F27×6, K1B×1
	P50×10	P50×10
エントランス2	FW27×4, K1B×1	F27×4, K1B×1
	P50×8	P50×8
ホール	FW27×12, K1B×1	F27×12, K1B×1
	P50×1	P50×1
ポーチ2	I60×2	I60×2
男子便所	A321×2, F09×1	A41×2, F09×1
	H321×1	H41×1
女子便所	A321×2, F09×3	A41×2, F09×3
	H321×1	H41×1
多目的便所	A321×1	A41×1
前室2	F27×2	F18×2
湯沸室	A321×1, D201×1	A41×1, D21×1
常設展示室	G321×62, K1B×3	G41×62, K1B×3
特別展示室	G321×24, K1B×1	G41×24, K1B×1
倉庫	G321×4	G41G×4
講座室	A322×16, E321×2	A42×16, E41×2
	K1B×2	K1B×2
外部照明	N18×5	N18×5
売店	B162×1, G321×2	B22×1, O60×2
納屋	G322×3	G42×3

(器具凡例)

1. 放送器具

天井埋込型2x2-3W ATT無し	撤去再取付
天井埋込型2x2-3W ATT付	撤去再取付

2. 自動火災報知器具

差動式2x4'外型感知器 2種	撤去再取付
定温式2x4'外型感知器 1種 防水	撤去再取付
光電式2x4'外型煙式 2種	撤去再取付

3. 空調・換気機器

AC 空調室内機	空調工事	電源切離し接続本工事
全熱交換機	空調工事	電源切離し接続本工事
中間ファン	空調工事	電源切離し接続本工事
天井換気扇	空調工事	電源切離し接続本工事
レゾ用換気扇	空調工事	電源切離し接続本工事
全熱交換機(ヒートパフ)	本体撤去本工事	本体支給品取付本工事

天井改修範囲を示す(範囲内器具は、撤去再取付)

● 空気調和設備	1 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th>温度 [DB]</th> <th>湿度 [RH]</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28</td> <td>℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20</td> <td>℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		屋 内				温度 [DB]	湿度 [RH]	一 般 系 統		温度 [DB]	湿度 [RH]	夏 期	36.9℃	46.1%	28	℃	9%	℃	冬 期	0.6℃	50.7%	20	℃	9%	℃	1 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。	1 配管材料	・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）		
	外 気		屋 内																																	
	温度 [DB]	湿度 [RH]	一 般 系 統		温度 [DB]	湿度 [RH]																														
	夏 期	36.9℃	46.1%	28	℃	9%	℃																													
	冬 期	0.6℃	50.7%	20	℃	9%	℃																													
	2 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない	2 円形ダクト	※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・耐火二層換気管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） （注）1 使用区分は図示による。	○ 給水設備	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <th>中水配管</th> <th></th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>（注）1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ※がアプリア ・拡管）便所・廊下流し廻り露出配管（※拡管）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。</p>	施工箇所	管 種 別	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部（水道直結部分）	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道用ポリエチレン管	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	中水配管		床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD ・HIVP	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管	2 絶縁フランジ	取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分
	施工箇所	管 種 別																																		
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD																																		
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP																																		
	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																		
	地中埋設部（水道直結部分）	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道用ポリエチレン管																																		
	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																		
	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）																																		
	その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																		
	中水配管																																			
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PD ・HIVP																																		
	湿潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PD ・HIVP																																		
	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PD																																		
地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																			
その他の部分	※SUS ・SGP-PD ・HIVP ・ポリブテン管																																			
3 煙 道	（1）鉄板厚 ※3.2mm ・4.5mm ） （2）ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない （3）ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・設けない	3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	○ 給湯設備	3 弁 類	（1）規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 （2）ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。	4 ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型																												
4 煙 突	※別途 ・本工事	4 チャンパー	（1）内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 （2）消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	○ 消火設備	4 ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型	5 電気給湯器	飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。																												
5 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	5 ダンパー	（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	○ ガス設備	1 配管材料	屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP 消火用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP 不活性ガス消火用 ※STPG370（白）Sch40 ・STPG370（白）Sch80	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・（a） ・（b） ・（c））																												
6 円形ダクト	※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） （注）1 使用区分は図示による。	6 多湿箇所の排気ダクト	（1）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・ （2）水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける	○ 排水設備	2 一体形タンク	一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	3 水 栓	※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。																												
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	7 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の廻り部ダクト 仕様はN・（ロ）・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・IXとし範囲は図示による）	○ 排水設備	3 水 栓	※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。	4 量 水 器	※親メーター（※賞与品 ・ ） ・子メーター（※買取り ・ ）																												
8 チャンパー	（1）内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 （2）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない	○ 排水設備	4 量 水 器	※水道事業者指定品 ・標準図MC形	5 量水器柵	※水道事業者指定品 ・標準図MC形																												
9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・グラスウール製	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・	○ 排水設備	5 量水器柵	※水道事業者指定品 ・標準図MC形	6 弁 類	規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。																												
10 ダンパー	（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	10 ダンパー	※天井取付（・スリット形 ※スイング形） ・壁取付 （・スリット形 ・スイング形）	○ 排水設備	6 弁 類	規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。	7 水 栓 柱	※防寒コンクリート水栓柱（1200L） ・不凍給水栓																												
11 配管材料	（1）冷温水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ （2）冷却水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ （3）ブライン管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ （4）冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 （保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上） ただし、液管の呼び径がφ52mm以下の断熱厚は、8mmとしてもよい。 （5）ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（13φACT/13φ）相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP （消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 （6）油管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ （7）蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 （8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・	11 配管材料	（1）冷温水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ （2）冷却水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ （3）ブライン管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ （4）冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 （保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上） ただし、液管の呼び径がφ52mm以下の断熱厚は、8mmとしてもよい。 （5）ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（13φACT/13φ）相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP （消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 （6）油管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ （7）蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 （8）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・	○ 排水設備	7 水 栓 柱	※防寒コンクリート水栓柱（1200L） ・不凍給水栓	8 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・（a） ・（b） ・（c））																												
12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	○ 排水設備	8 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・（a） ・（b） ・（c））	9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。																												
13 温度計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタダクト、 外気取入ダクト及びレタチャンパー ※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	13 温度計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタダクト、 外気取入ダクト及びレタチャンパー ※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	○ 排水設備	9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。	10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。																												
14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各還り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	○ 排水設備	10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。	11 本管取出し	水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。																												
15 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。	15 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 （3）温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 （4）使用液体は、飲料用水道水とする。 （5）リモコン ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電	○ 排水設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。																												
16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	○ 排水設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。																												
17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	○ 排水設備	2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。	2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。																												
18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 （1）圧縮機自動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 （2）冷媒 HFC（R410A、R32又はR407C） （注1）R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 （注2）R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 （3）埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 （1）圧縮機自動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 （2）冷媒 HFC（R410A、R32又はR407C） （注1）R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 （注2）R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 （3）埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	○ 排水設備	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット																												
	設計年月日			課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名	図面番号																								
										富士見市総合政策部管財課	市立難波田城資料館空調設備更新工事	機械設備工事特記仕様書（2）	M-02																							

- 1 アスベスト処理工事 一般共通事項
- 2 アスベスト含有分析 調査

留意事項

- 本工事は、アスベスト含有の恐れのある保温材、ダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
- アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
- この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事（建築工事）」（平成29年版）（以下「改修仕様」という）による。

分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]

・ 行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロンドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

分析方法

※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による

分析結果については、監督員に提出すること。

- 3 アスベスト粉じん 濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]

・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示

測 定 用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考
い^k1	い^k2	い^k3	測定1	処理作業室内	※各2点・各3点
○	○	・	測定2		
○	○	・	測定3	処理作業室内	各2点
○	○	・	測定4		
○	○	・	測定5	セキユリティーゾーン入口	各1点
○	○	・	測定6		
○	○	・	測定7	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点
○	○	・	測定8		
○	○	・	測定9	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点
○	○	・	測定10		

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
マグネットの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジェル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ同直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア、測定結果

イ、測定時間

ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）

エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ、マウンティング方法

カ、顕微鏡視野面積、計数視野数

キ、測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

- 4 7μm以上吹き付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3]

・ 行う 除去方法は9.1.3)による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹き付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

- 5 7μm以上含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4]

・ 行う

作業上の隔離

・ 行う

・ 行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

- 6 7μm以上含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5]

・ 行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・
・		※ 図示 ・

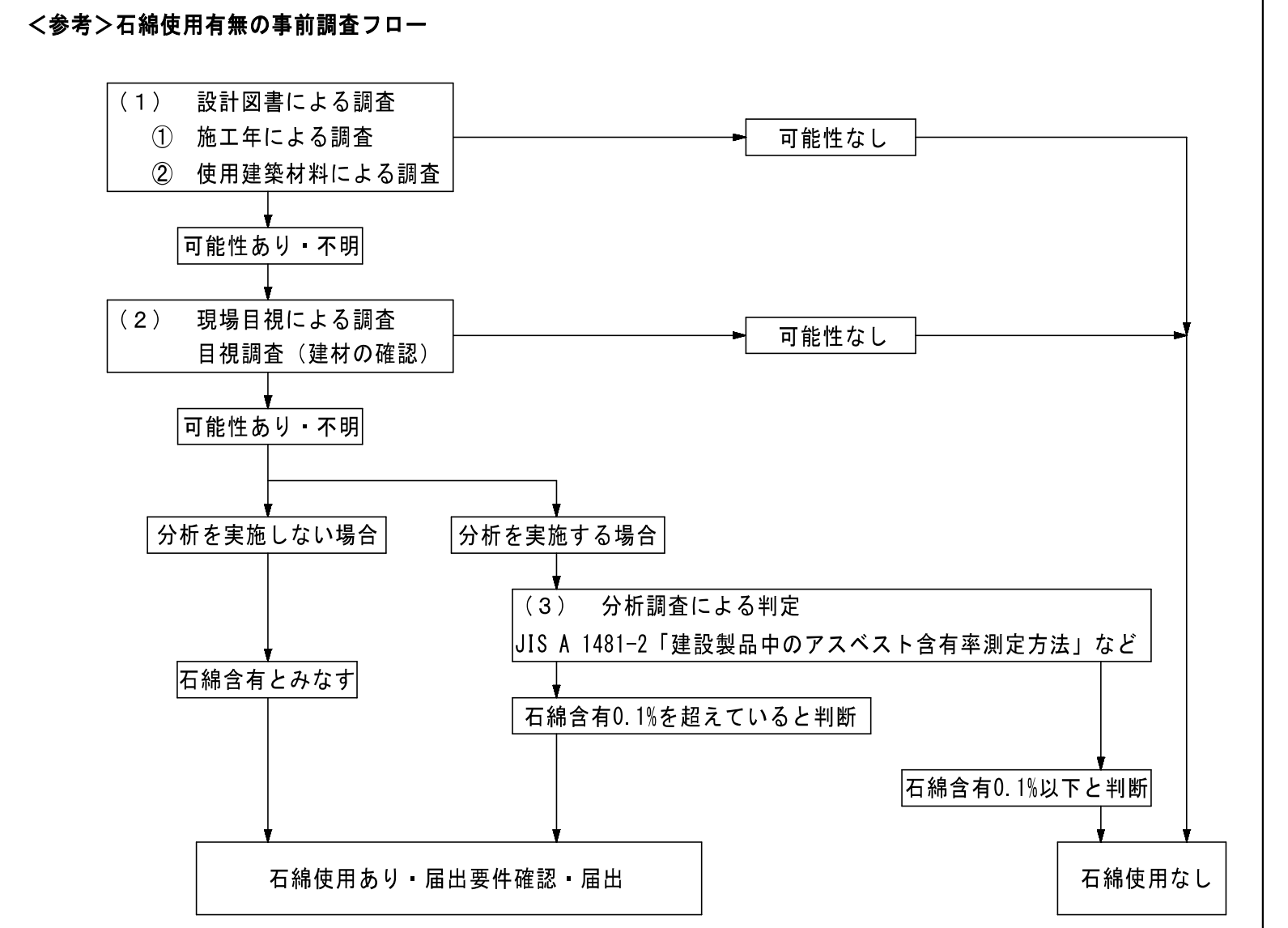
2 非石綿部での切断による除去

・ 行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ・撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ・撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ・撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

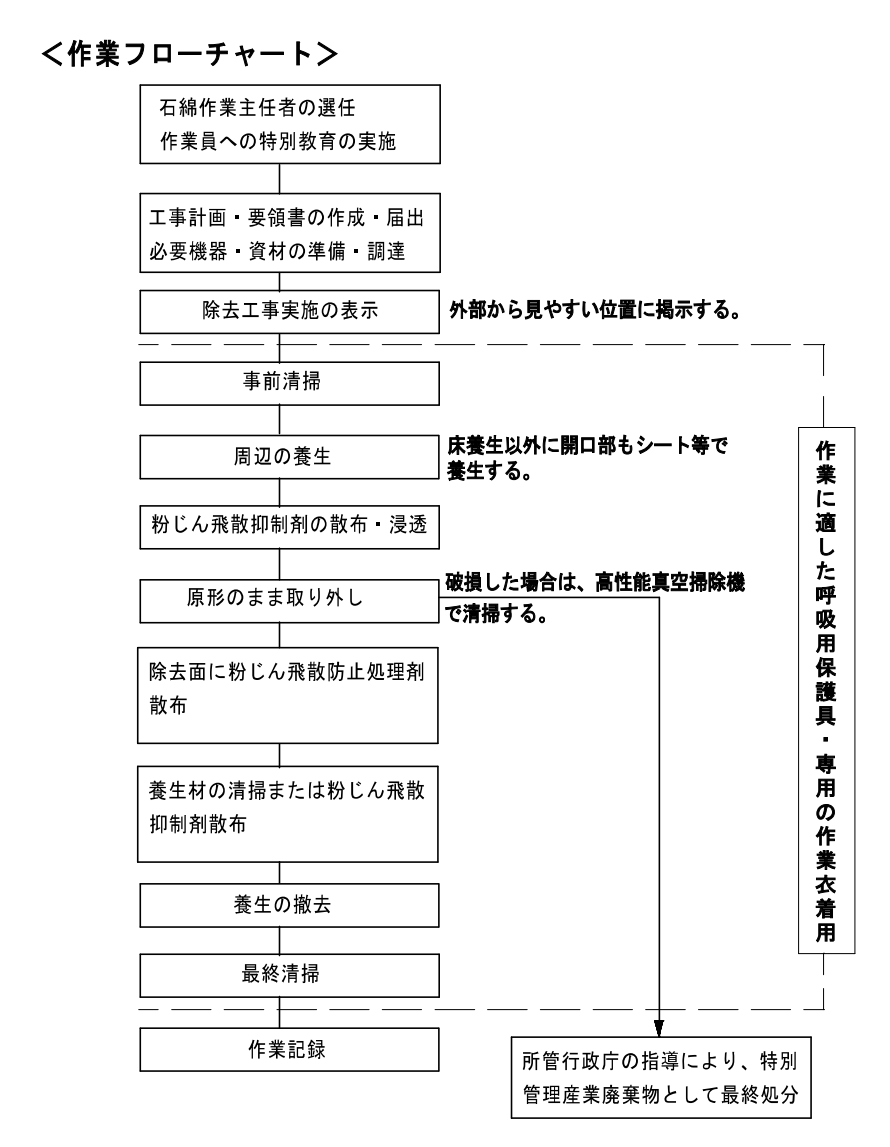
※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。



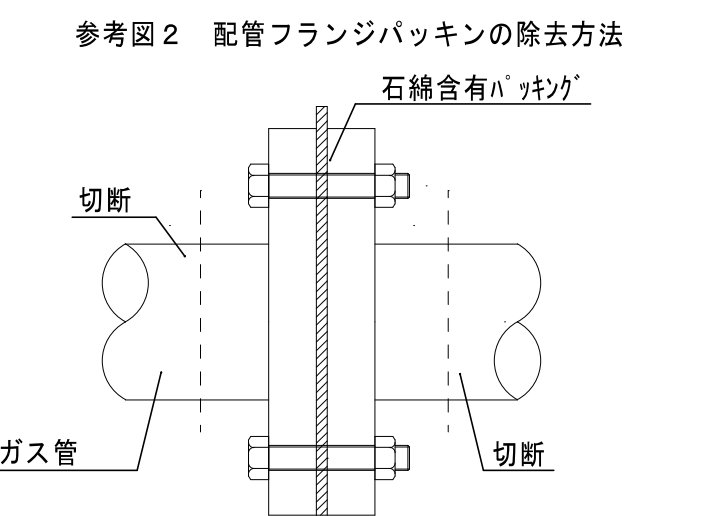
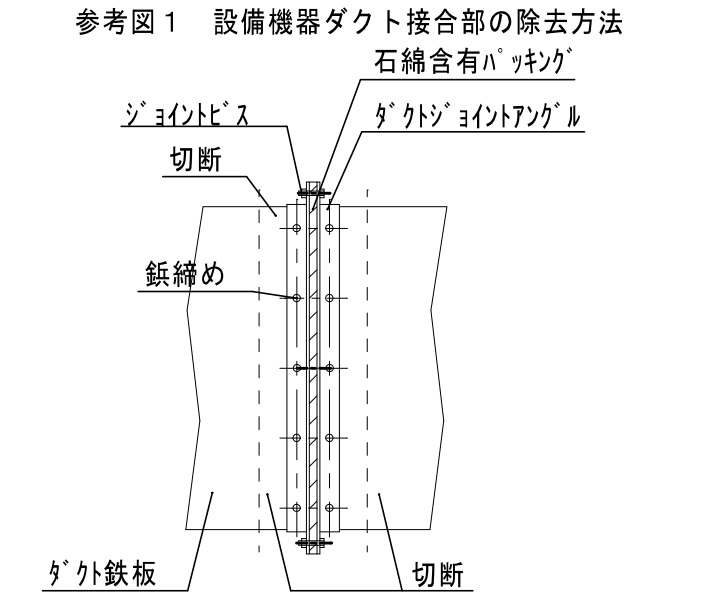
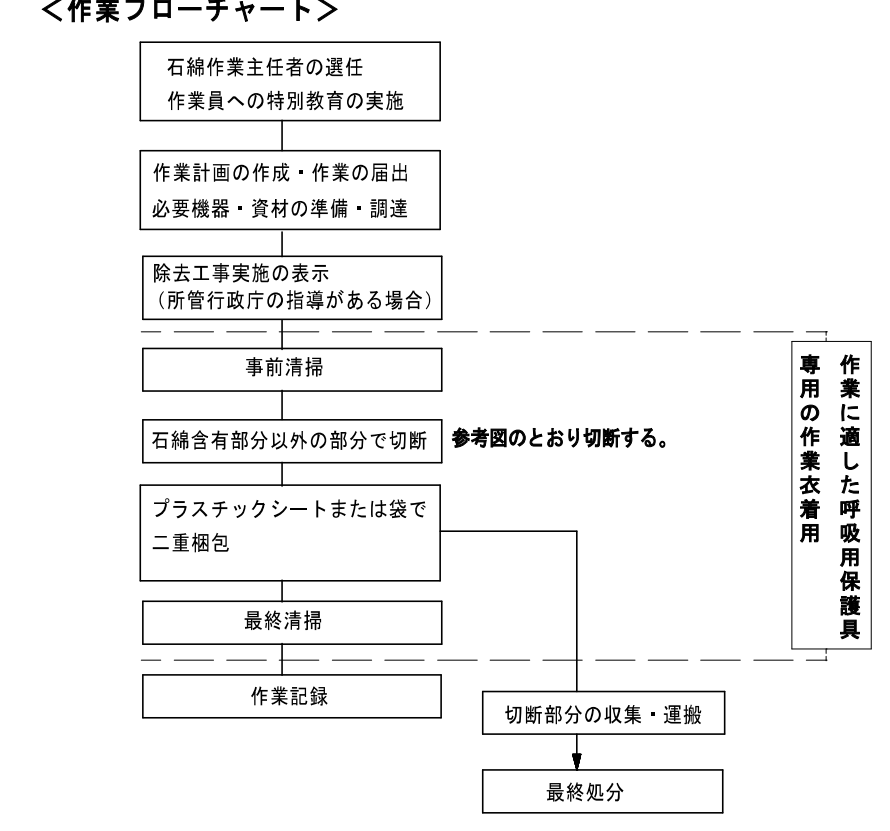
<参考>非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）

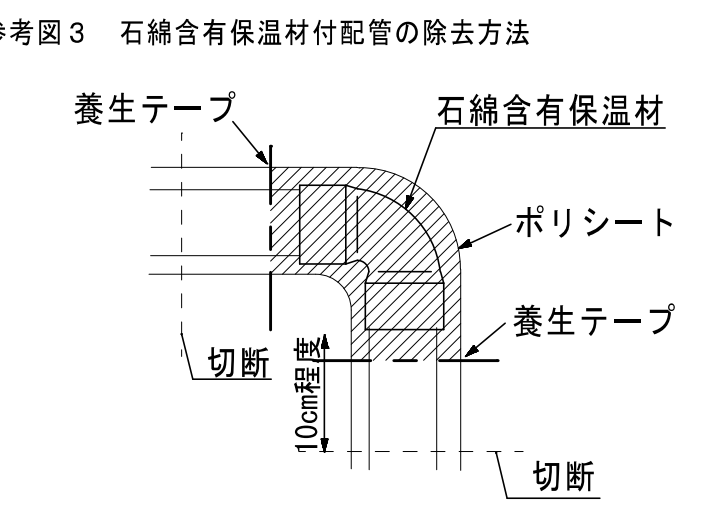
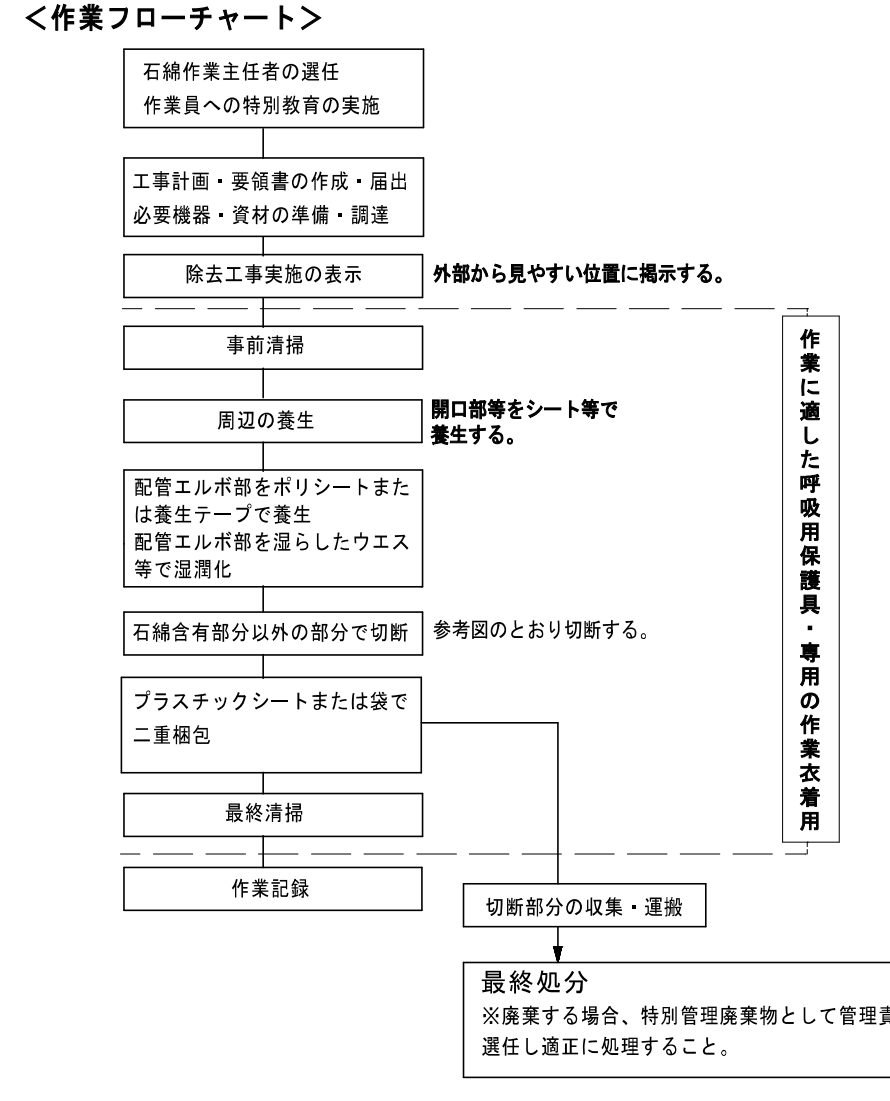
成形された配管保温材等の非飛散性石綿含有建材を原形のまま取り外す場合には、粉じん飛散の程度が比較的低いことから、薬液等による湿潤化を基本として、次のとおり除去する。なお、劣化し粉じん飛散のおそれのある場合は、石綿含有吹き付け材除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。



- 2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）



- 3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル3一部レベル2）



■空調機器表(難波田城資料館) 新設

図中記号	名 称	設置場所	設置数(台)	形 式	冷房能力(KW/h)	暖房能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	送風機出力(KW)	機外静圧(Pa)	冷媒管接続口径(mm×mm)	備 考	工事内容
AC-1	マルチ型冷暖房 屋外機	屋 外	1	インバータマルチ屋外機	56	63	3-200	5.514×2	0.1×4		19.05×38.1	公共建築工事標準仕様 アクティブフィルター付 SUS製防雪フード 防振架台	新設
AC-1-1	マルチ型冷暖房 屋内機	常設展示場	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	11.2	12.5	1-200		0.185	50 (高速:80)	9.52×19.05	ドレンアップポンプ内臓	新設
AC-1-2	マルチ型冷暖房 屋内機	特別展示場	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	7.1	8	1-200		0.09	45 (高速:80)	9.52×15.88	ドレンアップポンプ内臓	新設
AC-1-3	マルチ型冷暖房 屋内機	ホ ー ル	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	7.1	8	1-200		0.09	45 (高速:80)	9.52×15.88	ドレンアップポンプ内臓	新設
AC-2	マルチ型冷暖房 屋外機	屋 外	1	インバータマルチ屋外機	28	31.5	3-200	7.5	0.1×2		12.7 ×28.58	公共建築工事標準仕様 アクティブフィルター付 SUS製防雪フード 防振架台	新設
AC-2-1	マルチ型冷暖房 屋内機	講 座 室	2	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	11.2	12.5	1-200		0.08		9.52×19.05	標準リモコン	新設
AC-2-3	マルチ型冷暖房 屋内機	会 議 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	5.6	6.3	1-200		0.025		9.52×15.88	標準リモコン	新設
AC-3	マルチ型冷暖房 屋外機	屋 外	1	インバータマルチ屋外機	28	31.5	3-200	7.5	0.1×2		12.7 ×28.58	公共建築工事標準仕様 アクティブフィルター付 SUS製防雪フード 防振架台	新設
AC-3-1	マルチ型冷暖房 屋内機	事 務 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	14	16	1-200		0.13		9.52×19.05	標準リモコン	新設
AC-3-2	マルチ型冷暖房 屋内機	整 理 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	8	9	1-200		0.04		9.52×15.88	標準リモコン	新設
AC-3-3	マルチ型冷暖房 屋内機	作 業 員 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	4.5	5	1-200		0.055		8.35×12.7	標準リモコン	新設
CC-1	冷暖房機 集中コントローラー	事 務 室	1	制御機能:発揮(一括・グループ・個別)・グループ設定・運転モード切替・室温設定・暖房切替・強制停止・デマンド制御・フィルター及び点検サインリセット 監視機能:運転状況・優先指示・運転モード・風量・設定温度・オートスイング・室温表示・フィルターサイン・点検サイン									新設

■空調機器表(納屋・売店) 新設

図中記号	名 称	設置場所	設置数(台)	形 式	冷房能力(KW/h)	暖房能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	始動電流(A)	冷媒ガス種	冷媒管接続口径(mm×mm)	備 考	工事内容
RC-1	空冷ヒートポンプエアコン	納 屋	1	壁掛形ルームエアコン	4.0	5.0	1-200	1.10	4.5	R32	9.5×6.4	ドレン管:VP20	新設
RC-2	空冷ヒートポンプエアコン	売 店	1	壁掛形ルームエアコン	4.0	5.0	1-200	1.10	4.5	R32	9.5×6.4	ドレン管:VP20	新設

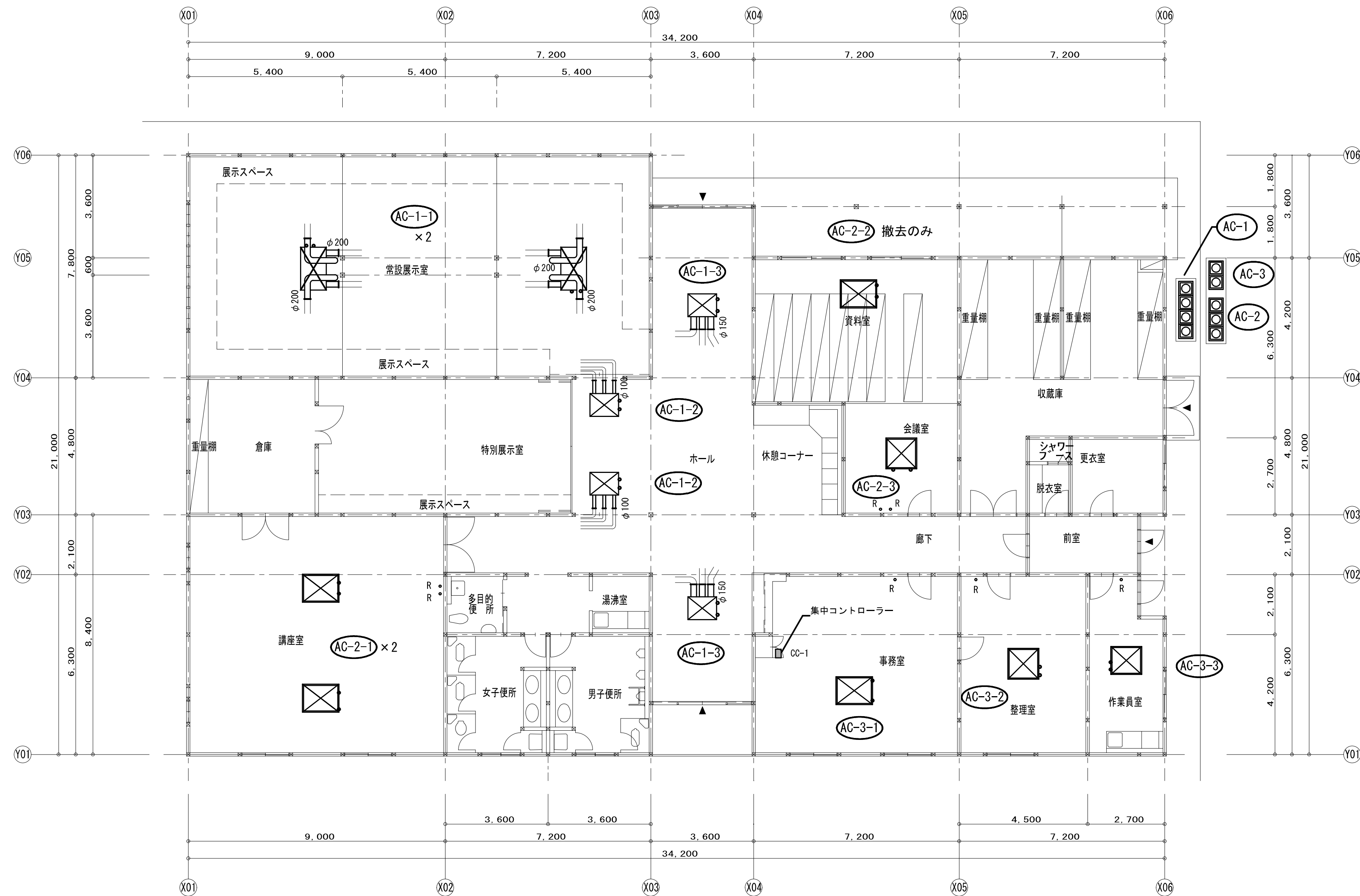
■空調機器表(難波田城資料館) 撤去

図中記号	名 称	設置場所	設置数(台)	形 式	冷房能力(KW/h)	暖房能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	送風機出力(KW)	機外静圧(Pa)	冷媒管接続口径(mm×mm)	備 考	工事内容
AC-1	マルチ型冷暖房 屋外機	屋 外	1	インバータマルチ屋外機	56	63	3-200	5.514×2	0.1×4		19.05×38.1		既設撤去
AC-1-1	マルチ型冷暖房 屋内機	常設展示場	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	11.2	12.5	1-200		0.185	50 (高速:80)	9.52×19.05	ドレンアップポンプ内臓	既設撤去
AC-1-2	マルチ型冷暖房 屋内機	特別展示場	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	7.1	8	1-200		0.09	45 (高速:80)	9.52×15.88	ドレンアップポンプ内臓	既設撤去
AC-1-3	マルチ型冷暖房 屋内機	ホ ー ル	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	7.1	8	1-200		0.09	45 (高速:80)	9.52×15.88	ドレンアップポンプ内臓	既設撤去
AC-2	マルチ型冷暖房 屋外機	屋 外	1	インバータマルチ屋外機	35.3	40	3-200	5.513.75	0.1×3		15.88×31.8		既設撤去
AC-2-1	マルチ型冷暖房 屋内機	講 座 室	2	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	11.2	12.5	1-200		0.08		9.52×19.05	標準リモコン	既設撤去
AC-2-2	マルチ型冷暖房 屋内機	資 料 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	9	10	1-200		0.04		9.52×15.88	標準リモコン	既設撤去
AC-2-3	マルチ型冷暖房 屋内機	会 議 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	5.6	6.3	1-200		0.025		9.52×15.88	標準リモコン	既設撤去
AC-3	マルチ型冷暖房 屋外機	屋 外	1	インバータマルチ屋外機	28	31.5	3-200	7.5	0.1×2		12.7 ×28.58		既設撤去
AC-3-1	マルチ型冷暖房 屋内機	事 務 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	14	16	1-200		0.13		9.52×19.05	標準リモコン	既設撤去
AC-3-2	マルチ型冷暖房 屋内機	整 理 室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	8	9	1-200		0.04		9.52×15.88	標準リモコン	既設撤去
AC-3-3	マルチ型冷暖房 屋内機	作業員室	1	天井カセット四方向吹出型 (ドレンアップポンプ内蔵型)	4.5	5	1-200		0.055		8.35×12.7	標準リモコン	既設撤去
CC-1	冷暖房機 集中コントローラー	事 務 室	1	制御機能:発揮(一括・グループ・個別)・グループ設定・運転モード切替・室温設定・暖房切替・強制停止・デマンド制御・フィルター及び点検サインリセット 監視機能:運転状況・優先指示・運転モード・風量・設定温度・オートスイング・室温表示・フィルターサイン・点検サイン									既設撤去

■空調機器表(納屋・売店) 撤去

図中記号	名 称	設置場所	設置数(台)	形 式	冷房能力(KW/h)	暖房能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	始動電流(A)	冷媒ガス種	冷媒管接続口径(mm×mm)	備 考	工事内容
RC-1	空冷ヒートポンプエアコン	納 屋	1	壁掛形ルームエアコン	4.0	5.0	1-200	1.10	6.9	R410A	9.5×6.4	ドレン管:VP20	既設撤去
RC-2	空冷ヒートポンプエアコン	売 店	1	壁掛形ルームエアコン	4.0	5.0	1-200	1.10	6.9	R410A	9.5×6.4	ドレン管:VP20	既設撤去

富士見市総合政策部管財課	課 長	副課長	主 査	監督員	主 幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (5) 第6029号 大臣登録第137820号 (有) 梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立難波田資料館空調設備更新工事	施工年度 令和元年度	図面番号 M-O 4	
	図面名称 空調設備 機器表										工事場所 富士見市大字下南畑 地内		縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200



資料館 平面図 1:100

- 工事概要
- 1、既設空調室内機・室外機を更新する。(資料室のみ撤去処分)
 - 2、更新機器は既設配管・配線を接続する。
室内機用ドレン管のみ1m/台を更新に見込む。
 - 3、機器撤去に伴う冷媒ガス回収・処理は本工事とする。
 - 4、ダクト接続の室内機はチャンバーBOXも更新とする。

富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号 (有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事	施工年度 令和元年度	図面番号 M-05
										図面名称 空調設備平面図	工事場所 富士見市大字下南畑 地内	縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200

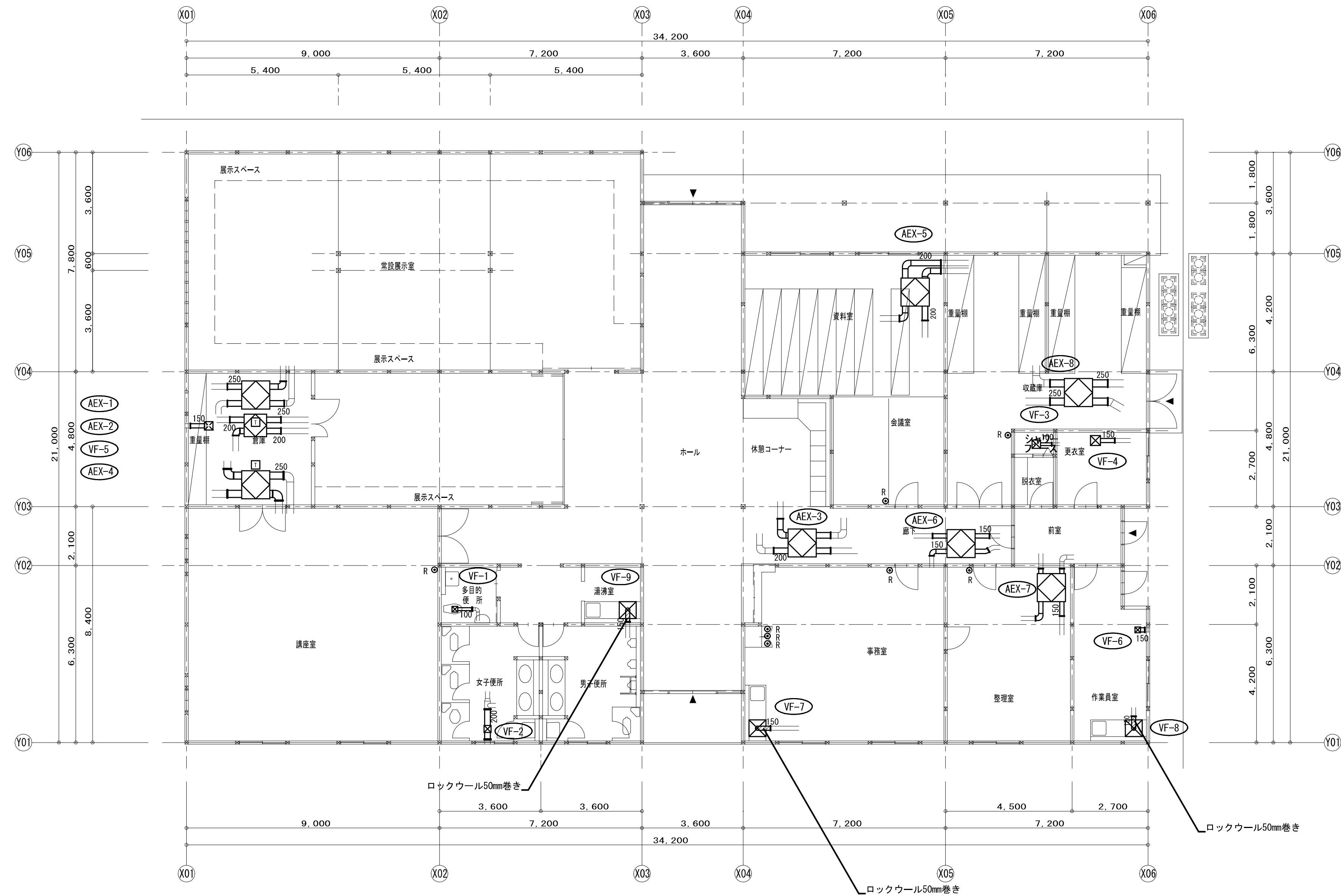
機 器 表 (換気設備機器)

図中記号	名 称	設置場所	設置数量(台)	形 式	換気風量 (m/h3)	機外風圧 (Pa)	電源 (φ-V)	送風機出力	ダクト口径 (mmφ)	備 考	工事内容
AEX-1	熱交換器付換気扇	倉 庫	1	天 井 埋 込 型	750	150	1-200	475	250	コンロスイッチ共 一括	既設撤去・新設
AEX-2	熱交換器付換気扇	倉 庫	1	天 井 埋 込 型	480	90	1-200	174	200	コンロスイッチ共 一括	既設撤去・新設
AEX-3	熱交換器付換気扇	廊 下	1	天 井 埋 込 型	330	100	1-200	138	200	コンロスイッチ共 一括	既設撤去・新設
AEX-4	熱交換器付換気扇	倉 庫	1	天 井 埋 込 型	1110	100	1-200	545	250	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-5	熱交換器付換気扇	資料室・会議室	1	天 井 埋 込 型	330	100	1-200	138	200	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-6	熱交換器付換気扇	廊 下	1	天 井 埋 込 型	240	70	1-200	119	150	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-7	熱交換器付換気扇	整 理 室	1	天 井 埋 込 型	280	40	1-200	119	150	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-8	熱交換器付換気扇	収 蔵 庫	1	天 井 埋 込 型	780	150	1-200	475	250	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
VF-1	天 井 扇	多目的便所	1	低 騒 音 型	100	50	1-100	15	100	VD-15ZC2	既設撤去・新設
VF-2	中間ダクトファン	女子便所	1	天吊埋込型・静音型	700	100	1-100	96	200	BFS 65S	既設撤去・新設
VF-3	天 井 扇	シャワー室	1	低 騒 音 型	20	50	1-100	8.4	100	VD-10CZ2	既設撤去・新設
VF-4	天 井 扇	更 衣 室	1	低 騒 音 型	200	50	1-100	25	100	VD-18ZB4	既設撤去・新設
VF-5	天 井 扇	倉 庫	1	低 騒 音 型	560	50	1-100	98	150	VD-23ZP4	既設撤去・新設
VF-6	天 井 扇	作業員室	1	低 騒 音 型	200	50	1-100	25	150	VD-18ZB4	既設撤去・新設
VF-7	レンジフードファン	事 務 室	1	60cm幅深型レンジフードファン	600	50	1-100	123	150	V-605K	既設撤去・新設
VF-8	レンジフードファン	作業員室	1	60cm幅深型レンジフードファン	600	50	1-100	123	150	V-605K	既設撤去・新設
VF-9	レンジフードファン	湯 沸 室	1	60cm幅深型レンジフードファン	600	50	1-100	123	150	V-605K	既設撤去・新設

火気使用室の換気

記 号	系 統	階	室 名	ガス機器名称	ガス消費量 (kcal/h) (0)	計 算 式 V=40*K*0		必要換気量 (m3/h)	決定換気量 (m3/h)	選定換気扇
						(40)	(K)			
VF-7	火気使用室	1	事 務 室	ガス給湯器 5号先止式 ガスコンロ 2口ガスコンロ 計	8,100 5,200 13,300	40	0.00108	574.56	580	三菱電機 レンジフードファン(V-605K) 仕様: 60cm幅 × 600 m3/h × 123 W 接続ダクト径: 150φ チェック: 580(m3/h) < 600(m3/h) 故にOK
VF-8	火気使用室	1	作業員室	ガス給湯器 5号先止式 ガスコンロ 2口ガスコンロ 計	8,100 5,200 13,300	40	0.00108	574.56	580	三菱電機 レンジフードファン(V-605K) 仕様: 60cm幅 × 600 m3/h × 123 W 接続ダクト径: 150φ チェック: 580(m3/h) < 600(m3/h) 故にOK
VF-9	火気使用室	1	湯 沸 室	ガス給湯器 5号先止式 ガスコンロ 2口ガスコンロ 計	8,100 5,200 13,300	40	0.00108	574.56	580	三菱電機 レンジフードファン(V-605K) 仕様: 60cm幅 × 600 m3/h × 123 W 接続ダクト径: 150φ チェック: 580(m3/h) < 600(m3/h) 故にOK

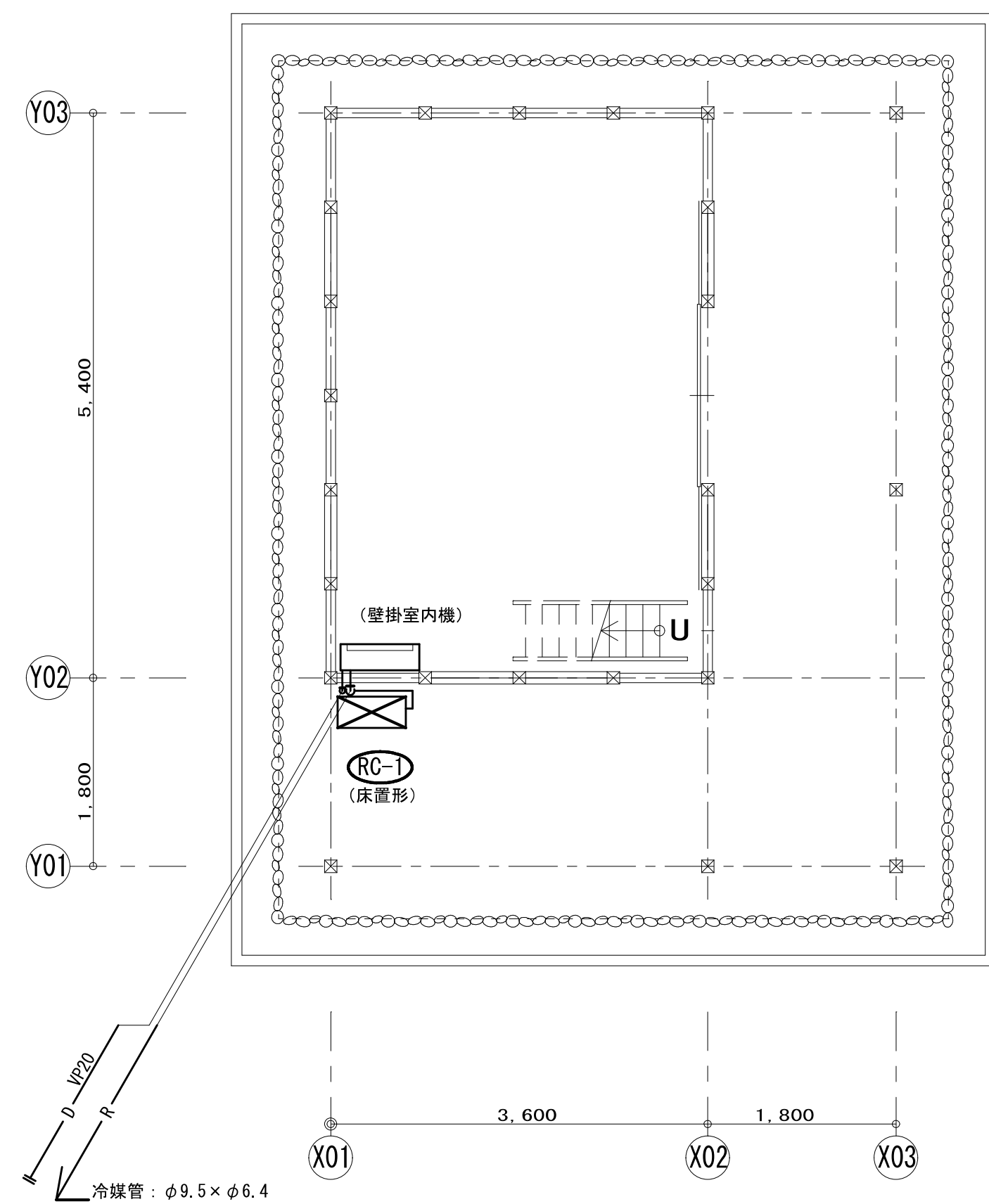
富士見市総合政策部管財課	課 長	副課長	主 査	監督員	主 幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (5) 第6029号 大臣登録第137820号 (有) 梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	施工年度	図面番号
										市立難波田城資料館空調設備更新工事	令和元年度	M-06
											換気設備 機器表	工事場所 富士見市大字下南畑 地内



資料館 平面図 1:100

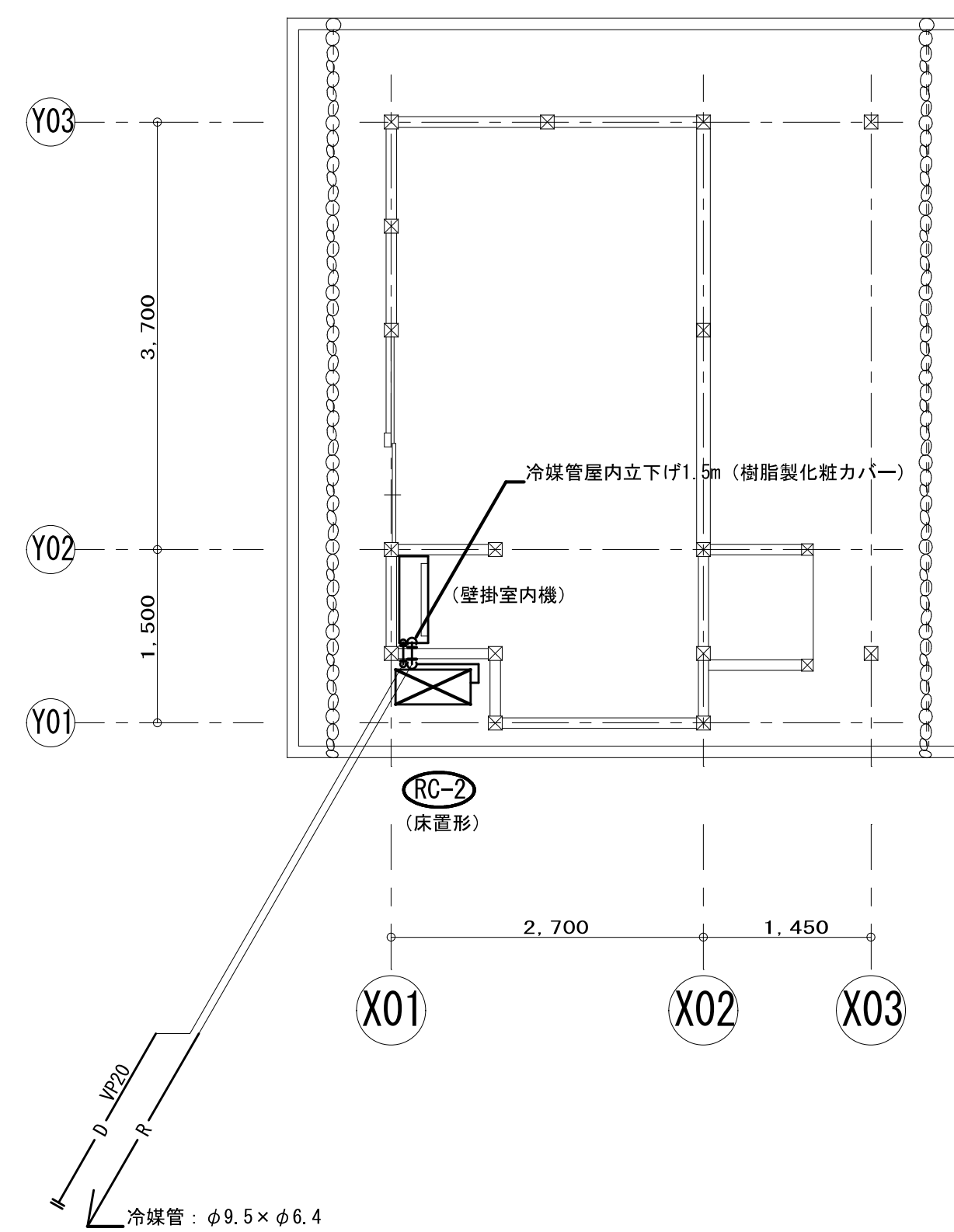
- 工事概要
- 1、既設換気扇（全熱交換換気扇・レンジフードを含む）を更新する。
 - 2、更新機器は既設ダクト・配線に接続する。
ダクト類のみ0.5m/箇所を更新に見込む。
 - 3、機器更新に伴う制気口の取外し再取付は本工事とする。
 - 4、全熱交換換気扇の全てのダクト及び外壁面より1m以内の排気ダクトはグラスウール25mm巻きとする。
 - 5、レンジフード排気ダクトはロックウール50mm巻きとする。
 - 6、全熱交換換気扇のスイッチは電気工事へ支給する。

富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号 (有) 梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事	施工年度 令和元年度	図面番号 M-07
										図面名称 換気設備平面図	工事場所 富士見市大字下南畑 地内	縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200



納屋 1階平面図 S-1/50

※屋外冷媒管カバは建築工事にて化粧する



売店 1階平面図 S-1/50

※屋内冷媒管カバは樹脂製とし、本工事とする。
屋外カバは無し

■工事概要

- 1、既設空調室外機・室内機及び冷媒管・ドレン管を撤去・新設する。
- 2、既設室外機の撤去に伴い冷媒ガスの回収・処理は本工事とする。
- 3、屋外室外機・冷媒配管の隠ぺい措置は建築工事とする。

富士見市総合政策部管財課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号 (有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	施工年度	図面番号
										市立難波田城資料館空調設備更新工事	令和元年度	M-08
										図面名称	工事場所	縮尺
									納屋・売店 空調設備平面図	富士見市大字下南畑 地内	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100	